



出雲市自転車活用推進計画

令和7年6月
出雲市

目次

第1章 計画策定の趣旨	4
1.1 計画策定の背景	4
第2章 自転車を取り巻く現状・環境	6
2.1 自転車に関する全国的な動向	6
2.2 出雲市における現状	16
2.2.1 地域の概況	16
2.2.2 自転車の利用状況	21
2.2.3 健康に関する状況	33
2.2.4 観光に関する状況	35
2.2.5 安全・安心に関する状況	45
2.3 自転車活用にあたっての問題点・課題	49
第3章 自転車活用推進に向けた基本方針	50
第4章 目指すべき将来像に向けた取組	52
4.1 施策体系	52
4.2 取組概要	53
4.3 自転車ネットワーク計画	65
4.3.1 対象エリアの設定	65
4.3.2 対象路線の選定	67
4.3.3 整備形態の選定	74
4.3.4 サイクリングロード	78
第5章 計画のフォローアップ	80
5.1 計画推進の目標	80
5.2 計画の推進体制	81
巻末資料	82



第1章 計画策定の趣旨

1.1 計画策定の背景

(1) 計画策定の背景

自転車は、子どもから高齢者まで手軽に利用できる移動手段です。

近年は、脱炭素に向けた動きや健康志向による利用ニーズの高まり、新型コロナ感染拡大を契機にした通勤手段などライフスタイルの見直し等により自転車利用者が全国的に増えています。また、ナショナルサイクルルートなど自転車による観光地域づくりや災害時における活用など非日常的な自転車利用に向けた取組も進められています。

一方、自転車が安全に走行できる空間整備が進んでおらず自転車による交通事故の割合は年々増加しており、自転車利用者のマナーも大きな問題となっています。

このように自転車を取り巻く環境が変化する中、平成29年5月に「自転車活用推進法」が施行され、国や島根県においても自転車活用推進計画が策定されてきました。

本市においても、過度な自動車依存からの脱却、山陰地方を代表する観光地の魅力度向上など様々な効果が期待されることから、「出雲市自転車活用推進計画」を策定し、誰もが安全で快適に自転車を利用できるための施策展開を図っていきます。

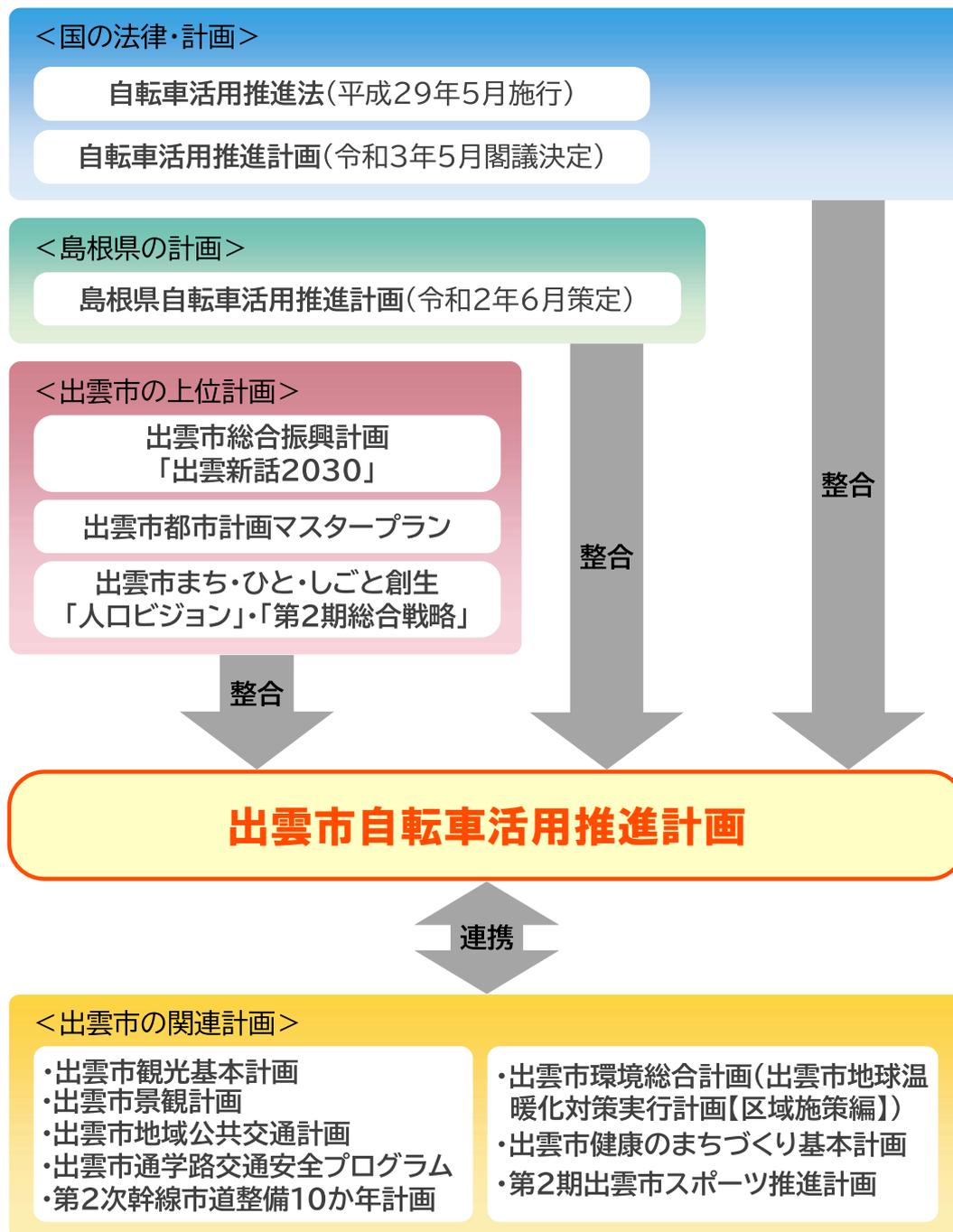
(2) 計画の対象地域・期間

本計画の対象地域は、市内全域とします。

また、本計画の期間は令和7年度から令和11年度までの5年間とします。



(3) 計画の位置付け



第2章 自転車を取り巻く現状・環境

2.1 自転車に関する全国的な動向

(1) 自転車利用の状況

近年、全国の自転車保有台数および販売台数は横ばい傾向にありますが、どちらも2019年以降は微増しています。また、電動アシスト自転車の販売台数は右肩上がりです。

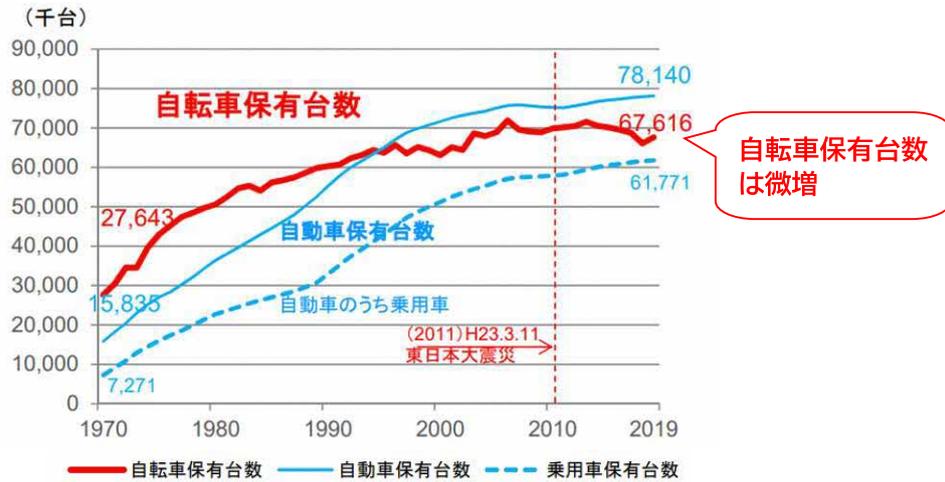


図 自転車保有台数の推移

※自転車保有台数は標本調査による推計値。自動車保有台数は二輪車を除く、各年3月の登録台数。

出典：国土交通省（自転車活用推進の取組状況および次期自転車活用推進計画の検討状況について）

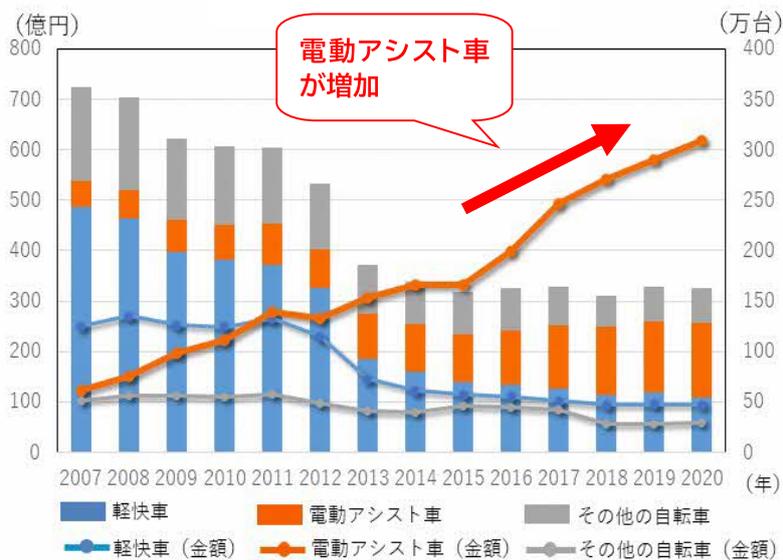


図 自転車販売台数・金額の推移

出典：経済産業省HP（電動アシスト車が牽引、堅調な自転車産業）



(2) シェアサイクルの導入状況

近年ではシェアサイクルを導入する都市が急増しており、令和4年度末時点で305都市が導入済みとなっています。

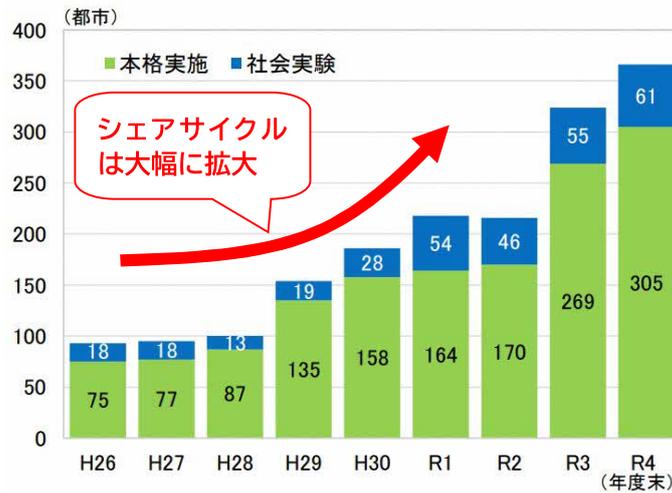


図 シェアサイクルの導入推移(全国)

出典：国土交通省 都市局 街路交通施設課（公共交通とシェアサイクル）

(3) 環境への影響

家庭からのCO₂（二酸化炭素）排出量は、自動車が約2割を占めています。自転車はCO₂や大気汚染物質も排出しない環境にやさしい移動手段として注目されています。

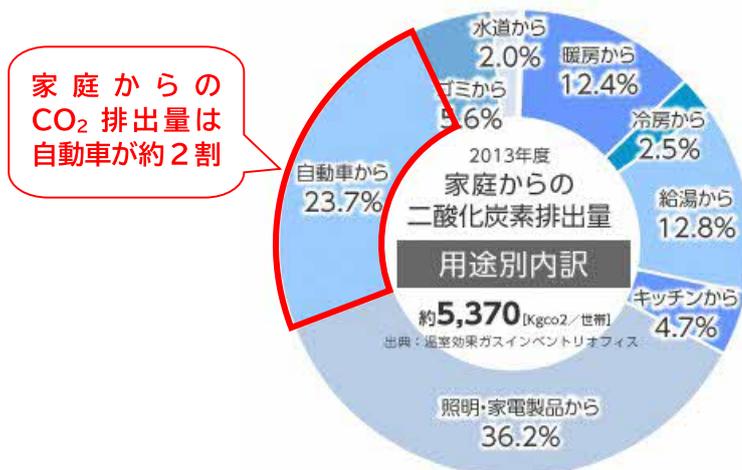


図 家庭からの二酸化炭素排出量(2013年度)

出典：内閣府大臣官房政府（広報室政府広報オンライン）

(4) 自転車の特性・メリット

① 移動距離と所要時間の関係

自転車は、約500mから5km弱の近・中距離の移動において、他のどの交通手段よりも所要時間が短いことが示されています。

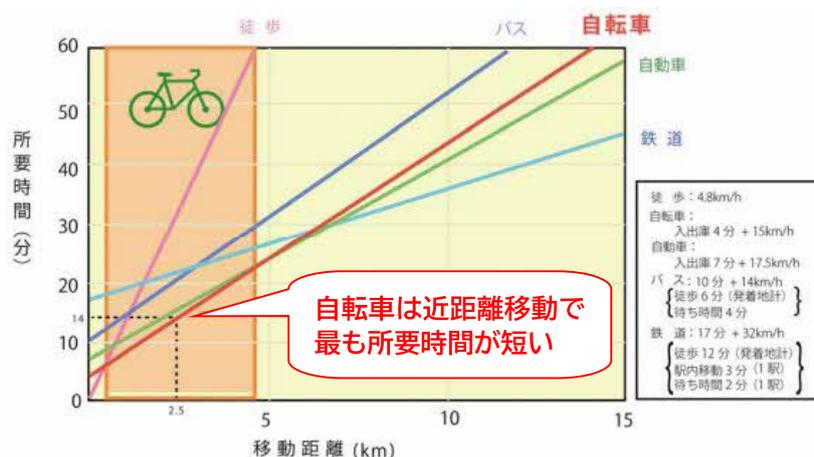


図 交通手段別の移動距離と所要時間

出典：自転車通勤導入に関する手引き (R1.5 自転車活用推進官民連携協議会)



② 自転車利用と疾患予防の関係性

自転車を組み合わせて通勤している人は、心臓疾患やがんの発症リスクが低く、活動的に身体を動かす習慣が疾患予防につながっています。

なお、出雲市の死因は、「がん」と「心疾患」が上位にあり、約8割を占めています。

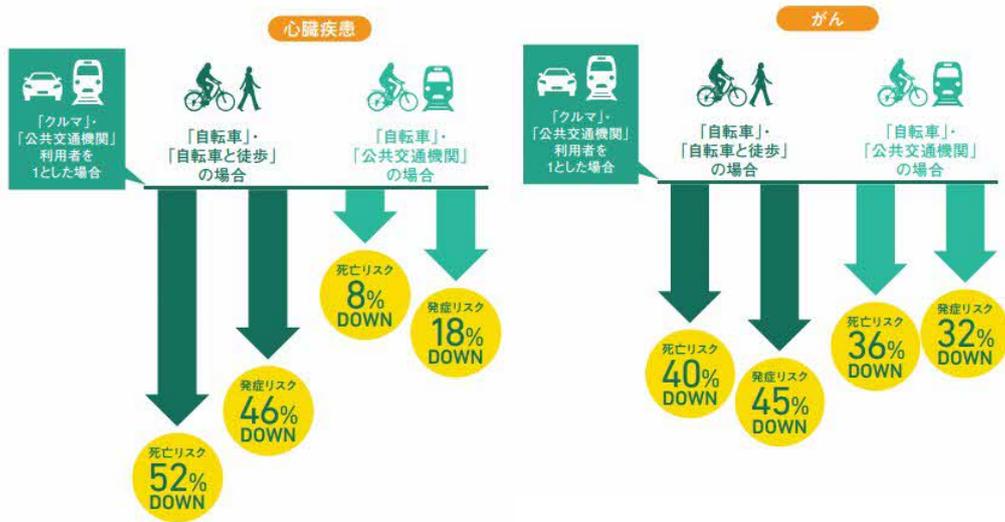


図 心臓疾患・がんによる死亡／発症リスク

出典：株式会社シマノ（Cyclingood）

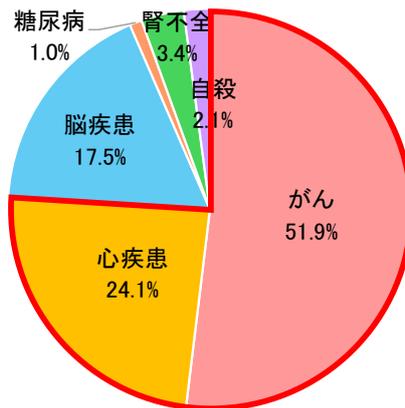


図 出雲市の死因(R4)

出典：出雲市国民健康保険 第3期データヘルス計画R6.3



③ 自転車通勤による気分・労働生産性の変化

自転車通勤をすることで前向きな気持ちになる、メンタルヘルスへの効果があります。

また、2か月間の自転車通勤の前後に、労働生産性の向上に寄与する4項目の調査をしたところ、すべての項目で上昇が見られ、仕事を円滑かつ効率的に推進する効果も明らかになっています。

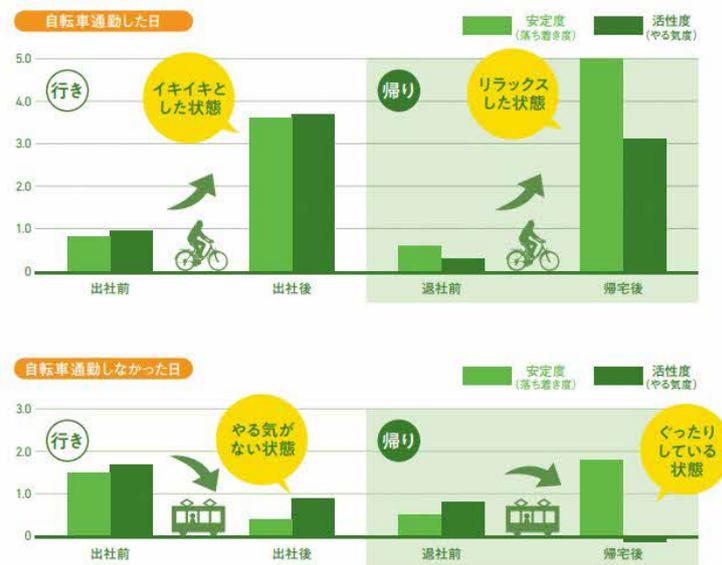


図 自転車通勤による気分・情動の変化



図 自転車通勤による労働生産性の変化

出典：株式会社シマノ (Cyclingood)



(5) ナショナルサイクルルート

① ナショナルサイクルルートの取組

ナショナルサイクルルートは、自転車を通じて優れた観光資源を有機的に連携するサイクルツーリズムを推進し、日本における新たな観光価値の創造、地域の創生を図るために創設された制度です。

日本を代表し、世界に誇りうるサイクリングルートを「ナショナルサイクルルート」として、国が指定します。現在、全国で6地域が一定の条件を満たしており、ナショナルサイクルルートに指定されています。



NATIONAL CYCLE ROUTE
ナショナルサイクルルート

ナショナルサイクルルートは、ルートの魅力や自転車の走行環境、サイクリストの受入環境などが高い水準にあるサイクルルートとして国が指定したものです。サイクルツーリズムを活かした新たな観光価値の創造や地域の魅力向上に繋がる取組が各ルートで進められています。

1 トカプチ400 (北海道)

2 つくば霞ヶ浦りんりんロード (茨城県)

3 太平洋岸自転車道 (千葉県、神奈川県、静岡県、愛知県、三重県、和歌山県)

4 富山湾岸サイクリングコース (富山県)

5 ピワイチ (滋賀県)

6 しまなみ海道サイクリングロード (広島県、愛媛県)

GOOD CYCLE JAPAN



表 ナショナルサイクルルートの指定要件

観点	指定要件	
ルート設定	サイクルツーリズムの推進に資する魅力的で安全なルートであること	 走行環境の整備
走行環境	誰もが安全・快適に走行できる環境を備えていること 誰もが迷わず安心して走行できる環境を備えていること	
受入環境	多様な交通手段に対応したゲートウェイが整備されていること	 受入環境の整備 (ゲートウェイ)
	いつでも休憩できる環境を備えていること	
	ルート沿いに自転車を運搬しながら移動可能な環境を備えていること	
	サイクリストが安心して宿泊可能な環境を備えていること	
	地域の魅力を満喫でき、地域振興にも寄与する環境を備えていること	
	自転車のトラブルに対応できる環境を備えていること	
情報発信	誰もがどこでも容易に情報が得られる環境を備えていること	 受入環境の整備 (サイクリスト専用ホテル)
	緊急時のサポートが得られる環境を備えていること	
取組体制	官民連携によるサイクリング環境の水準維持等に必要な取組体制が確立されていること	

出典：ナショナルサイクルルートHP（国土交通省）

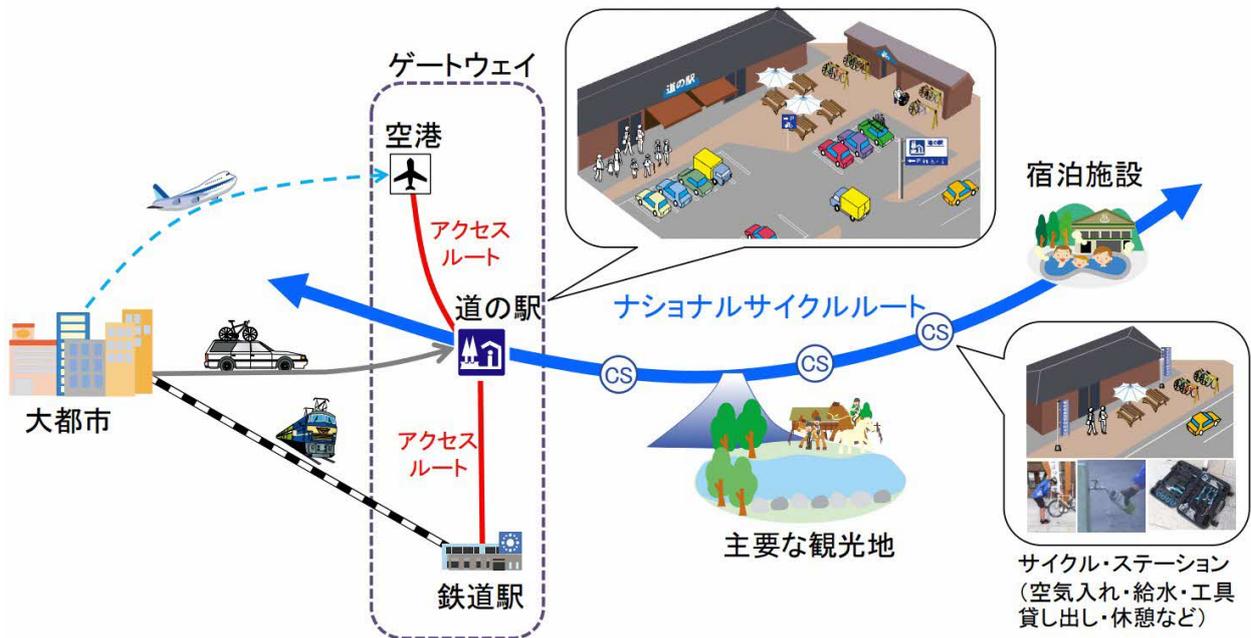


図 ナショナルサイクルルートのルート設定イメージ

出典：ナショナルサイクルルートHP（国土交通省）



② しまなみ海道レンタサイクル利用実績

ナショナルサイクルルートの一つであるしまなみ海道サイクリングロードでは、県外・国外からの多くのサイクリストで賑わっており、レンタサイクルも10万台/年を超える利用があります。

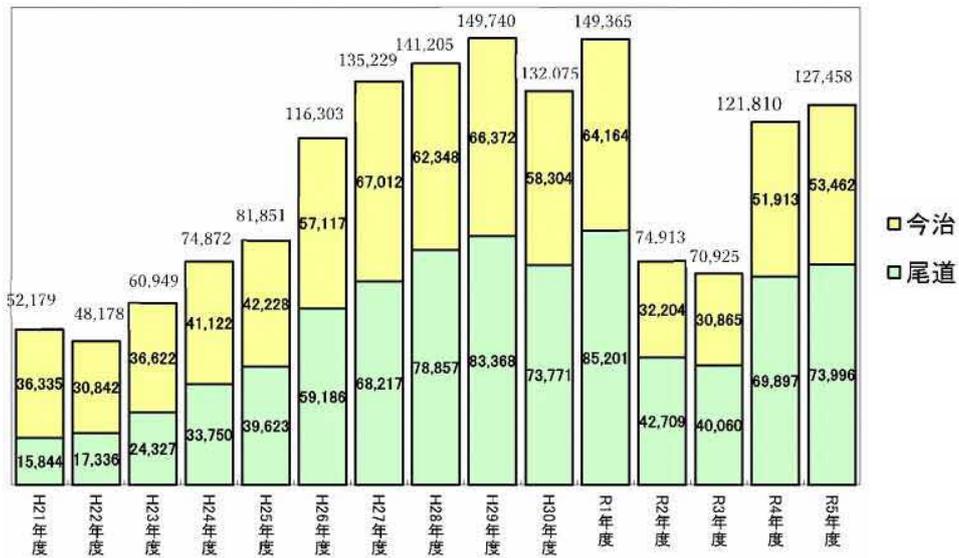


図 レンタサイクル利用実績の推移

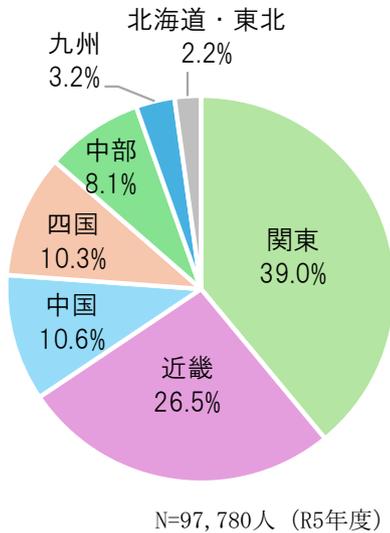


図 レンタサイクル利用者(国内居住者)

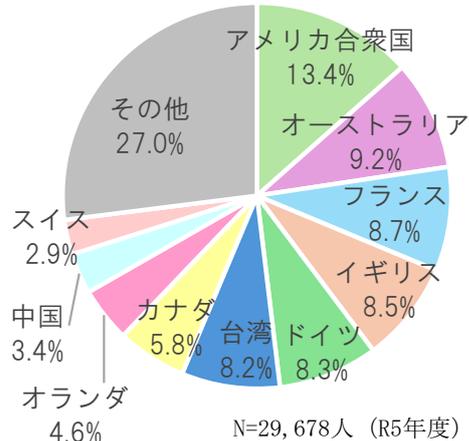


図 レンタサイクル利用者(国外居住者)

出典：観光庁ウェブサイト (<https://www.mlit.go.jp/kankocho/content/001769375.pdf>) を加工して作成



(6) 自転車事故

① 事故件数

全国の自転車関連事故件数は減少傾向にある一方、全交通事故に占める自転車関連事故の構成比は近年増加傾向にあります。

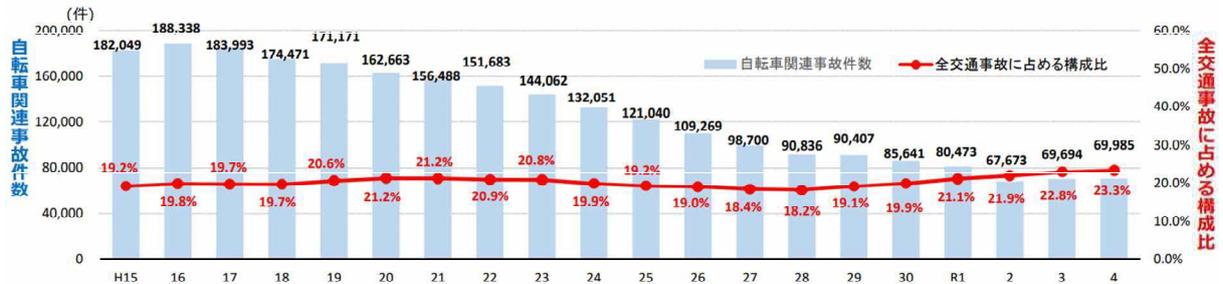


図 自転車関連事故件数の推移

※自転車乗用車が第1当事者・第2当事者となった事故を計上。ただし、自転車相互事故は1件として計上。

出典：警視庁HP（自転車関連交通事故の状況）

② 交通違反件数

全国的に自転車の取締りを強化していることもあり、自転車の違反摘発件数は年々増加し、令和5年では4万件を超えています。

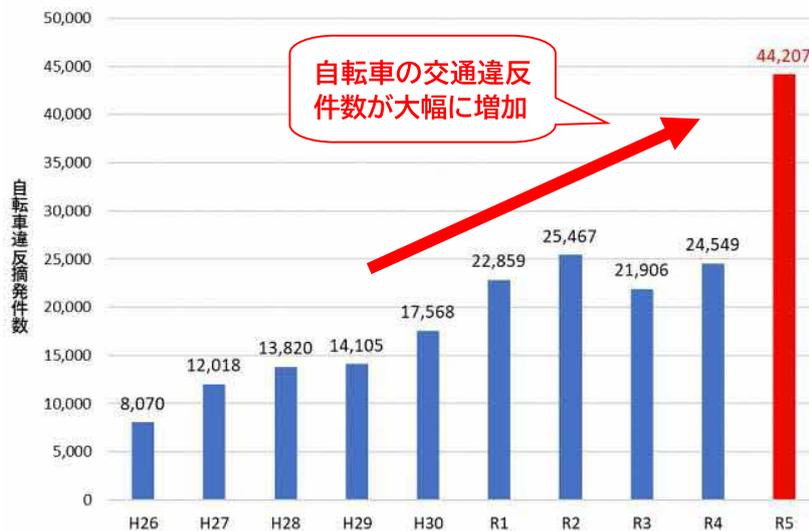


図 自転車による交通違反件数

出典：警視庁HP（自転車の交通指導取締り状況）



③ 道路交通法改正

令和6年11月1日から改正道路交通法が施行され、自転車の酒気帯び運転や、自転車運転中に携帯電話を使用する行為（ながらスマホ）等が禁止されて罰則の対象となりました。



図 酒気帯び運転等の禁止

出典：警視庁HP（自転車に関する道路交通法の改正について）

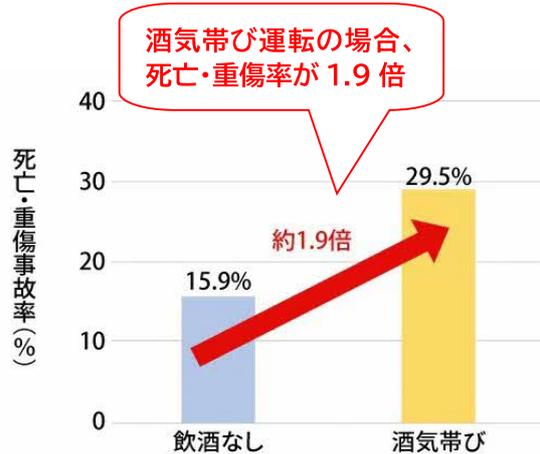


図 自転車(第1当事者)の交通事故における死亡・重傷事故率(H26 から R5 の累計)

出典：政府広報オンライン



図 ながらスマホの禁止

出典：警視庁HP（自転車に関する道路交通法の改正について）



図 自転車(第1当事者)の運転者が携帯電話等使用の状態であった場合の交通事故件数の推移

出典：政府広報オンライン



2.2 出雲市における現状

2.2.1 地域の概況

(1) 概況

本市の中央部は、地形的に平坦な出雲平野が広がっています。出雲市駅周辺に人口や主要施設が集中しており、市街地が形成されています。

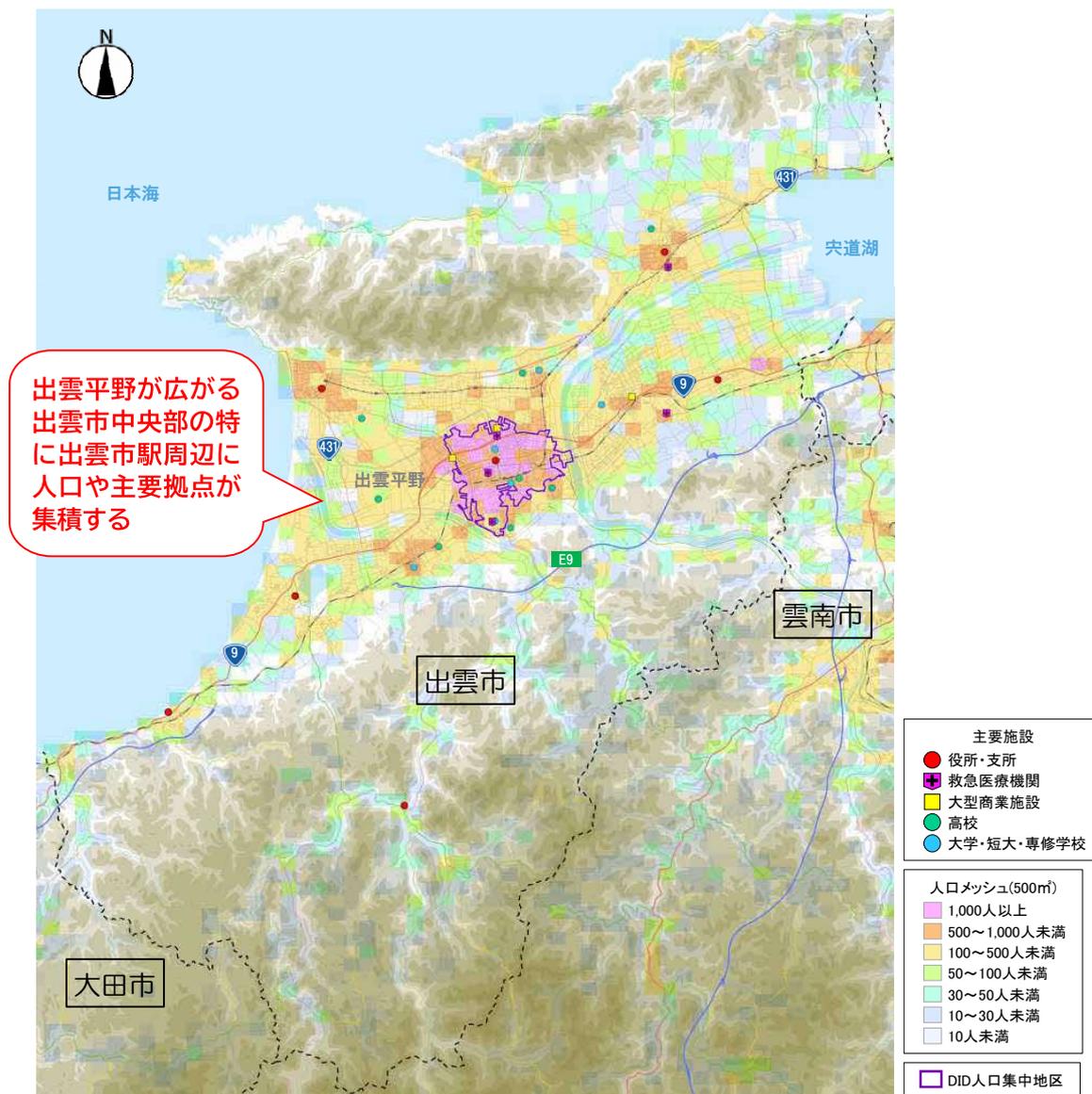


図 標高図・人口500㎡メッシュ

出典：国土数値情報、R2国勢調査、島根県保健医療計画(R6.4)、全国大型小売店総覧2025



(2) 気候

本市は、比較的夏の気温が低く、自転車利用に適した地域といえます。

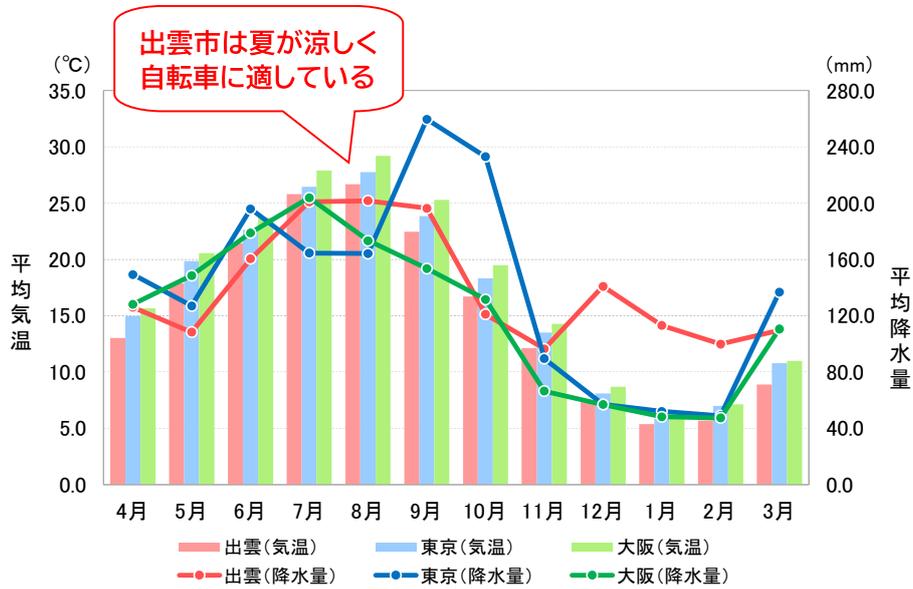


図 10年間(H26~R5年度)の月平均気温・降水量

出典：気象庁

(3) 出雲市の人口

本市の総人口は横ばいが続くものの、R2には人口の3割が65歳以上となり、少子高齢化が進行しています。

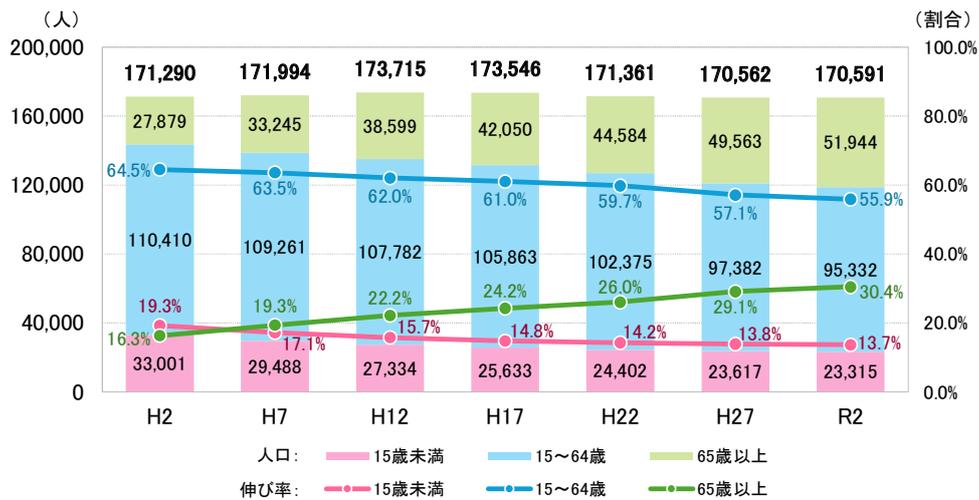


図 出雲市の年代別人口推移

出典：国勢調査



(4) 自動車交通量

出雲市の自動車交通量は、市街地を中心に国道9号、国道431号等で10,000台/日を超えています。中心部では主要渋滞箇所も存在しており、地域に環境負荷を与えています。



図 自動車交通量・主要渋滞箇所

出典：R3全国道路・街路交通情勢調査、中国地方整備局（主要渋滞箇所R6.9）



(5) 通勤・通学

本市では、約11万人が通勤・通学により市内または近隣の自治体間で移動しています。また、その交通手段は自家用車が約8割を占めています。

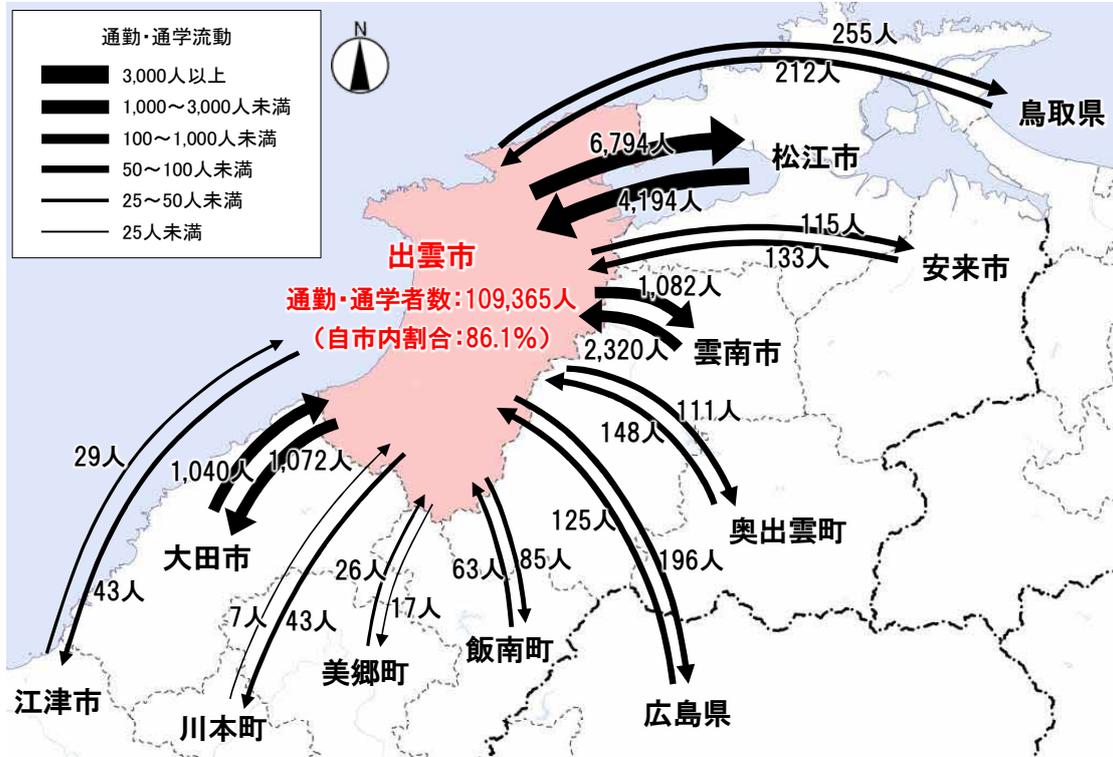


図 通勤・通学流動

出典：R2国勢調査

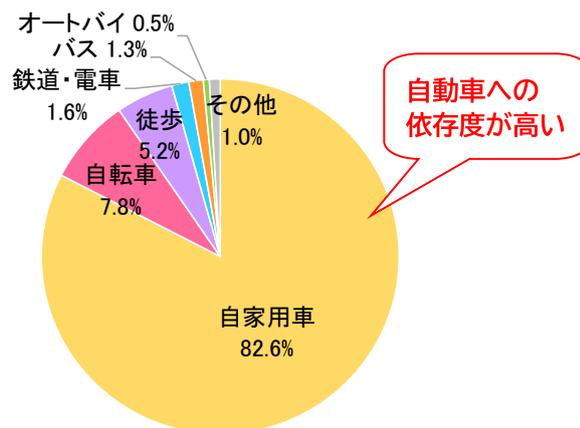


図 利用交通手段

※出雲市に住む通勤・通学者の交通手段が1種類のみ

出典：R2国勢調査



(6) 公共交通機関

路線バスや電車等の公共交通は、新型コロナの影響もあり利用者が減少しており、減便も続いています。

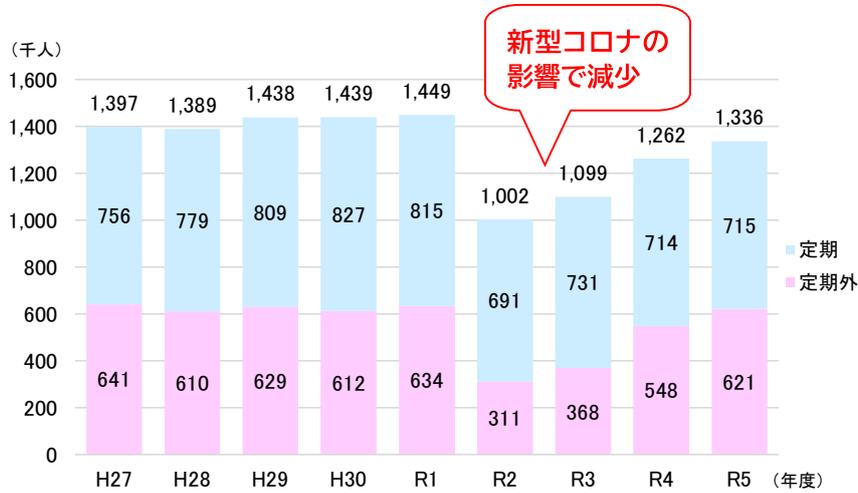


図 一畑電車年間輸送人員推移

出典：一畑電車株式会社



図 路線バス・コミュニティバス利用者数推移

出典：出雲市交通政策課

表 近年のバス・電車の減便状況

	ダイヤ改定日	内容
路線バス	令和5年10月1日	大社線、日御碕線の計14便を減便
JR	令和4年3月12日	米子～出雲間8本、出雲～浜田間7本の減便
一畑電車	令和6年4月1日	平日7本、休日2本の減便



2.2.2 自転車の利用状況

(1) 自転車交通量・駐輪場位置図

自転車交通量は、出雲市駅周辺の路線で100台/12h以上と多くの利用があり、JRや一畑電車の一部の駅に駐輪場が設置してあります。

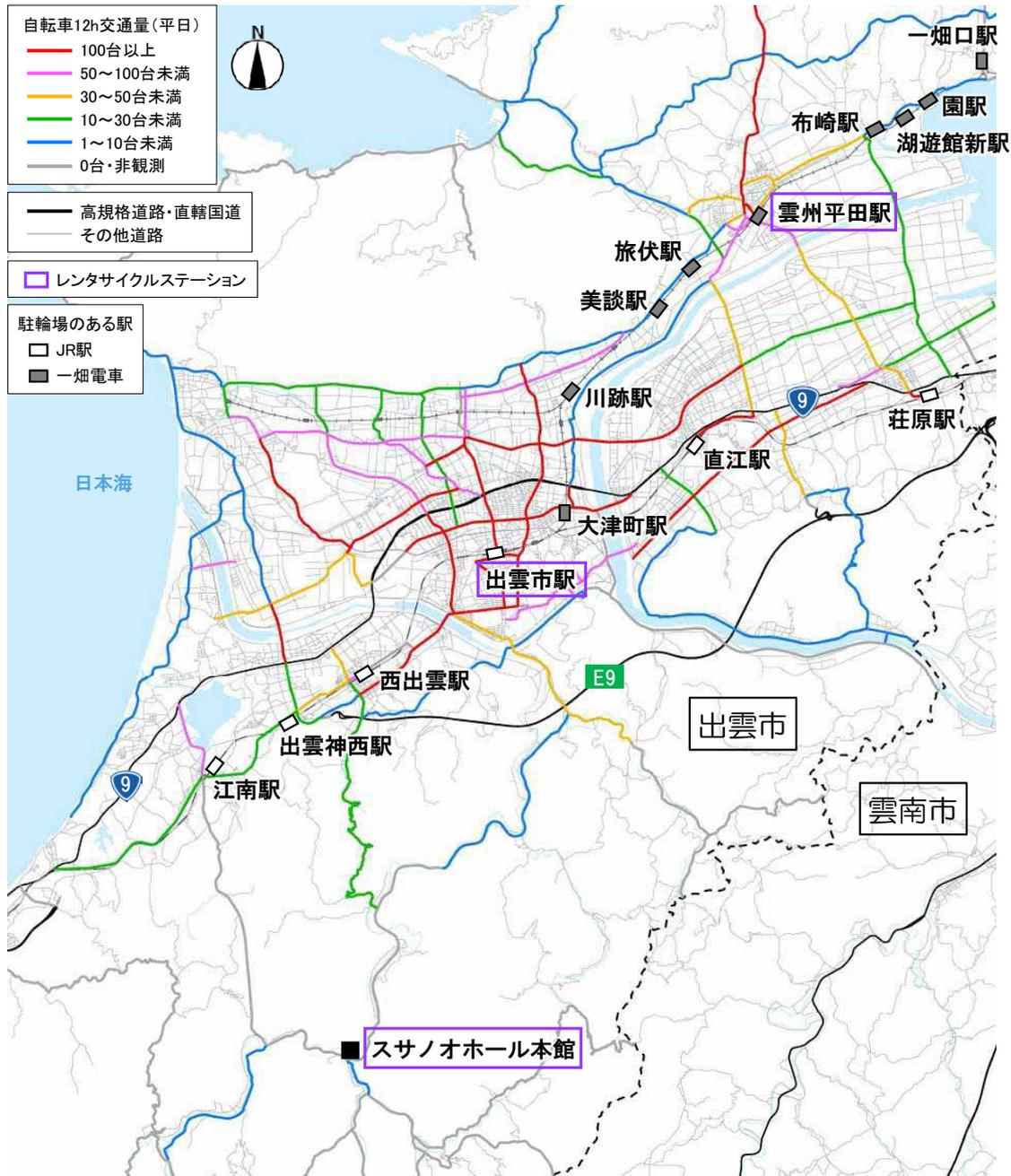


図 自転車交通量・駐輪場位置図

出典：出雲市、R3全国道路・街路交通情勢調査



(2) 出雲市駅駐輪場利用状況

出雲市駅の駐輪場の利用は、定期利用が年間約1,000人、一時利用が約9,000人となっています。

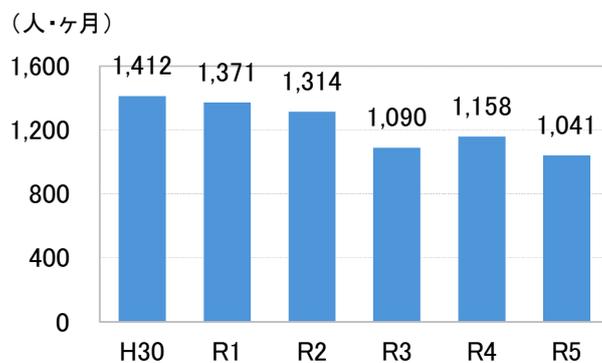


図 定期利用人数

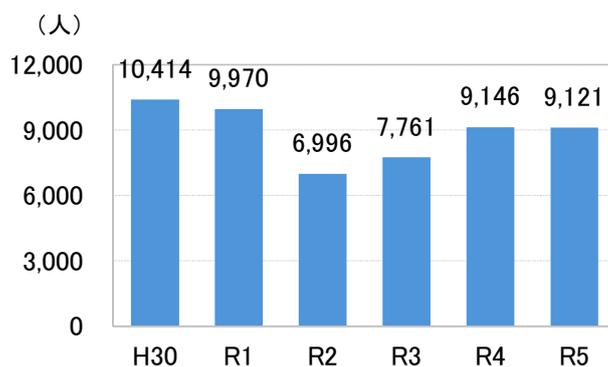


図 一時利用人数

出典：出雲市交通政策課

(3) レンタサイクル

出雲市では、出雲市駅・雲州平田駅・スサノオホール本館の3箇所でレンタサイクルを実施しています。レンタサイクルは、最大約300台/月（年間約2,500台）の利用があります。



図 レンタサイクル利用状況(R5)

出典：出雲市観光課

(4) 電車への自転車持込

一畑電車は、電車内に自転車を持ち込めるサイクルトレインを実施しています。利用者数は、年間約2,500人前後で推移しています。

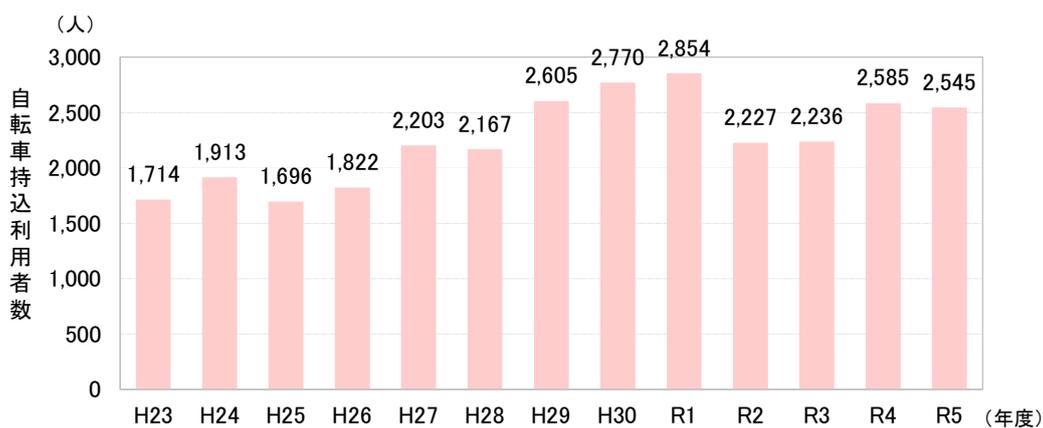
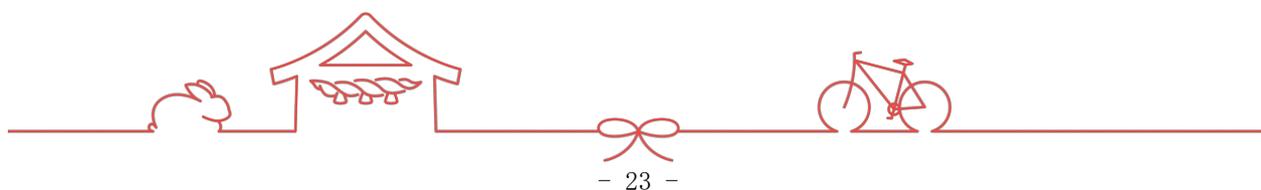


図 一畑電車への自転車持込者数

出典：一畑電車(株)提供資料



(5) シェアサイクル社会実験

令和6年9月1日～11月30日の3ヶ月、9箇所にポートを設置しました。利便性の高いシェアサイクルは、この社会実験で973人（1,170回/3ヶ月）と利用が増加しました。中でも出雲大社前駅と出雲市駅の利用が多くありました。

表 ポート別貸出数

貸出ポート	貸出数
出雲大社前駅	584
出雲市駅	432
島根ワイナリー	36
荘原駅	29
道の駅大社ご縁広場	28
GARB CLIFF TERRACE Izumo	27
小田駅	16
雲州平田駅	12
出雲文化伝承館	6

出雲大社前駅
と出雲市駅で
高い稼働結果

表 貸出・返却ポートのペア別利用数

貸出返却ペア	利用回数
出雲大社前駅～出雲市駅	221
出雲大社前駅～島根ワイナリー	44
出雲大社前駅～道の駅大社ご縁広場	26
GARB CLIFF TERRACE Izumo～小田駅	11
出雲市駅～島根ワイナリー	11

出雲大社～
出雲市駅間の
利用が多い

※貸出ポートと返却ポートが異なる利用を集計

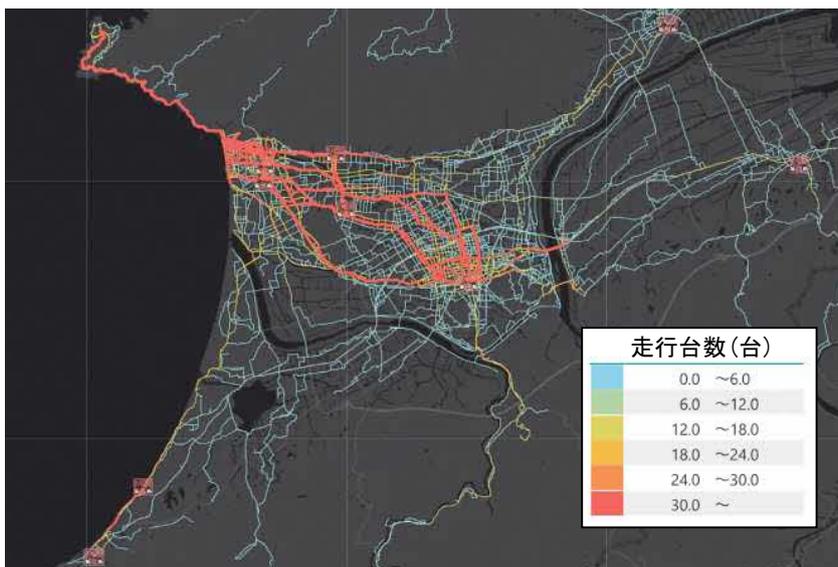
出典：出雲市観光課

表 実験概要

期 間	R6. 9. 1～R6. 11. 30（24時間対応）
ポート数	9箇所
自転車数	電動アシスト自転車30台
利用方法	専用アプリより自転車を予約または販売所で1日パスを購入



<社会実験状況>



<実験結果(自転車の走行経路)>



<アプリ画面>



<ポータルサイト>

<貸出ポート>



(6) 自転車利用について(アンケート結果)

計画策定にあたり、一般市民や市内の高校へ通う学生にアンケート調査を行い、自転車の利用状況や自転車利用の問題点についてご意見を伺いました。

表 アンケート調査概要

	市民アンケート	学生アンケート
調査期間	令和6年9月～10月	令和6年9月～10月
調査方法	18歳以上の市民を対象に無作為で1,000人に郵送配布・回収	市内高校に協力いただき、1・2年生の1クラスを対象とした全数配布・回収
回答数	324人	494人

① 年齢別自転車利用率

市民の回答では、「60代」・「70代」の利用率が高く、どちらも約2割が自転車を利用しています。また、学生は約9割が自転車を利用しています。

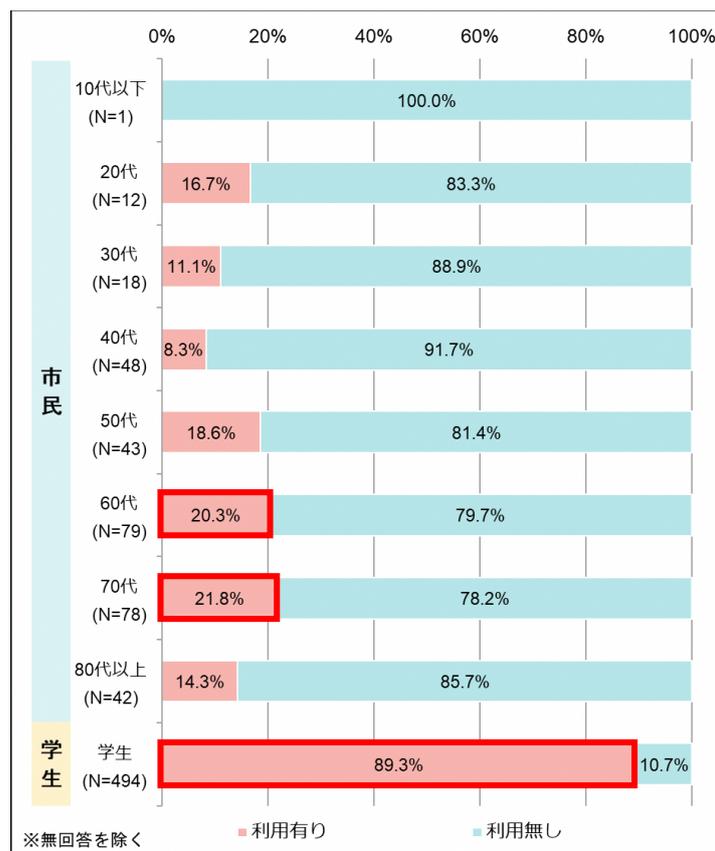


図 年齢別自転車利用率

出典：R6出雲市における自転車利用環境に関する市民・学生アンケート

② 自転車の利用頻度

市民の回答では、「月に数日程度」の自転車利用が約4割で、ほぼ毎日使う「週5日以上」は約3割となっています。自転車の利用率が高かった学生は、「週5日以上」の利用が約8割と多くなっています。

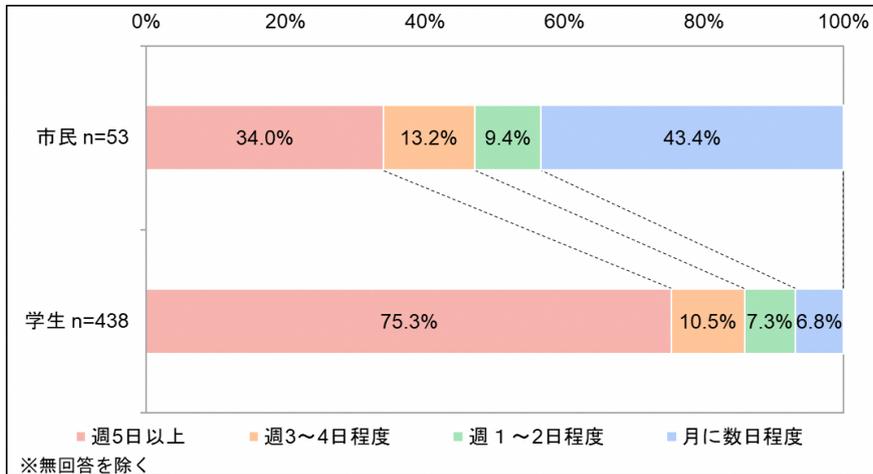


図 利用頻度

出典：R6出雲市における自転車利用環境に関する市民・学生アンケート

③ 自転車の利用目的

市民の最も多い回答は、約6割が「買い物」で自転車を利用しており、学生はほとんどが「通学」に利用しています。

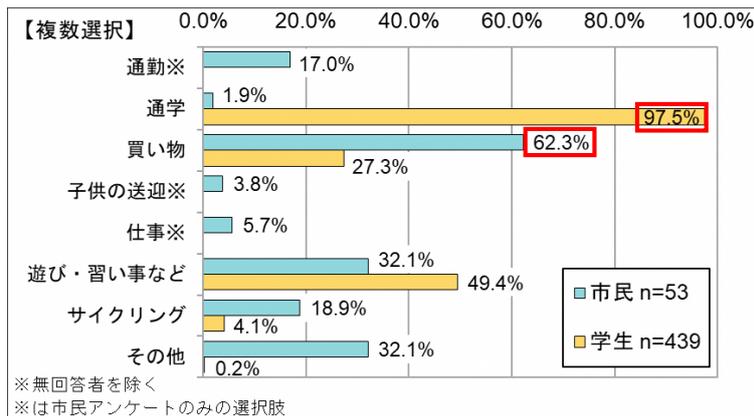


図 利用目的

出典：R6出雲市における自転車利用環境に関する市民・学生アンケート



④ 目的地

通学で自転車を利用する学生の目的地は、ほとんどが「学校」となっています。また、市民の多くは買い物に利用するため、目的地は「スーパー、コンビニ」が最も多くなっています。

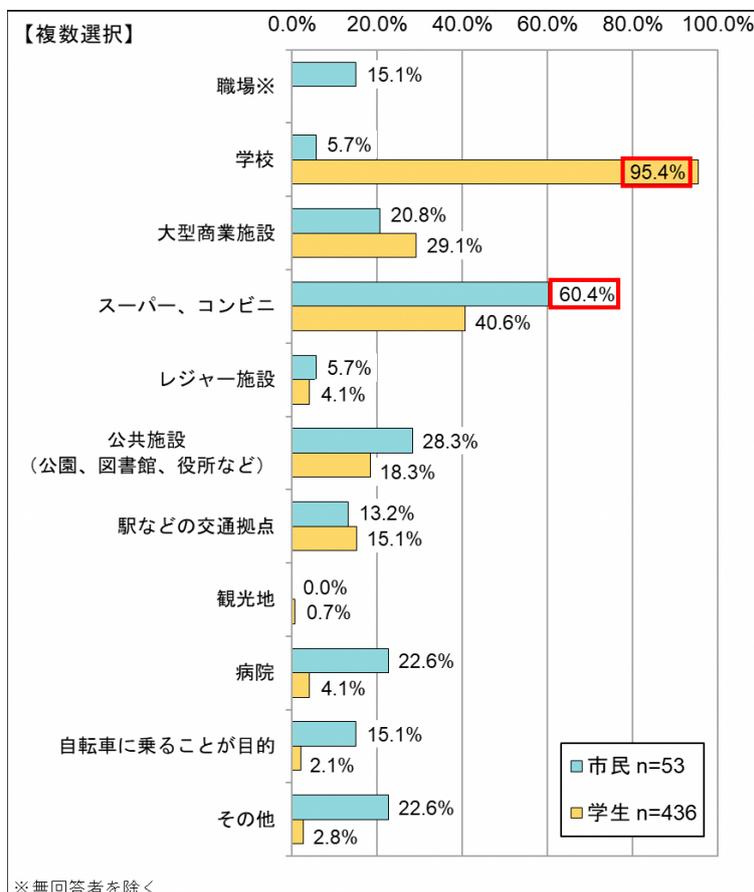


図 目的地

出典：R6出雲市における自転車利用環境に関する市民・学生アンケート

⑤ 自転車の利用理由

自転車を利用する理由は、市民・学生ともに約7割が「手軽に使えるため」としています。

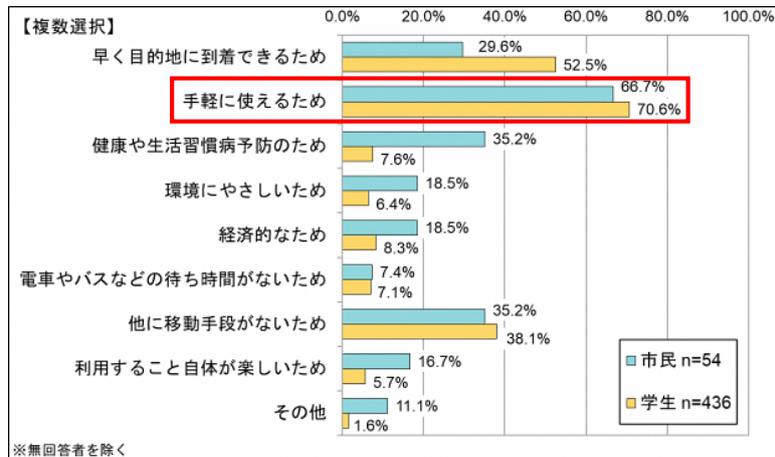


図 利用理由

出典：R6出雲市における自転車利用環境に関する市民・学生アンケート

⑥ 自転車を利用しない理由

市民・学生ともに約5割が「日常生活において利用する必要性がないため」となっていますが、対策によって改善が可能な理由も約1割あります。その約1割のうち、対策により改善した場合には、約6割が「自転車を利用する可能性がある」としています。

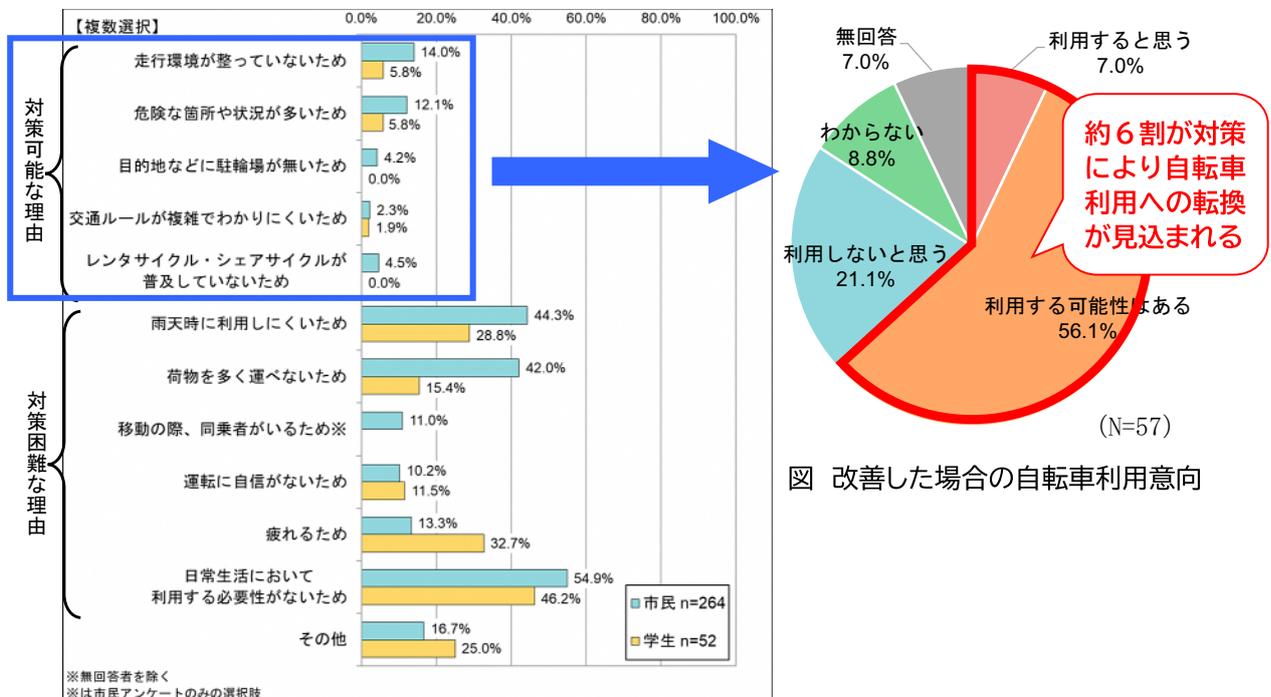


図 非利用理由

出典：R6出雲市における自転車利用環境に関する市民・学生アンケート



⑦ 自転車での移動ルートに重要視すること

市民・学生ともに「目的地までの距離が短いこと」が最も多くなっています。また、市民の回答では次いで「クルマの交通量が少ないこと」、「路面の凹凸が少ないこと」が多く、通行時の道路環境面を重視する回答が多くなっています。

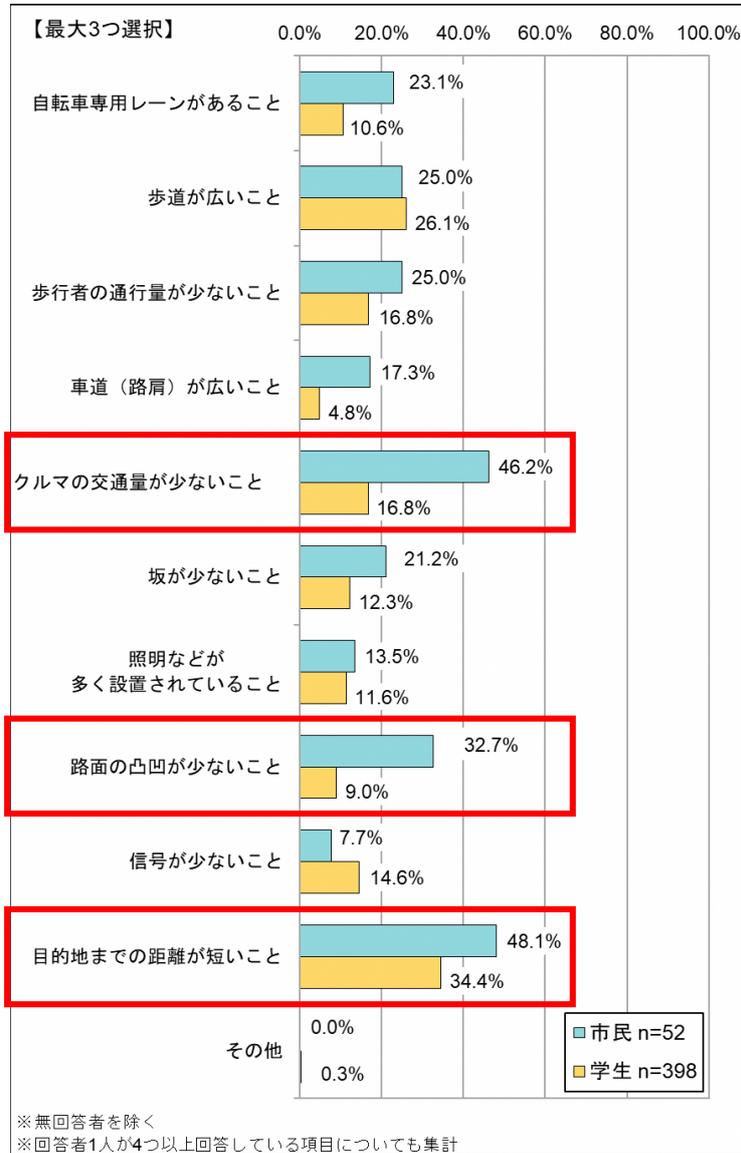


図 移動ルートに重要視すること

出典：R6出雲市における自転車利用環境に関する市民・学生アンケート

⑧ 『自転車利用環境』についての満足度

市民と学生の回答を比較すると、市民の回答のほうがどの項目も満足度が低くなっています。とくに「自転車利用時の安全性」では、「やや不満」・「不満」の割合が約4割と最も多くなっています。

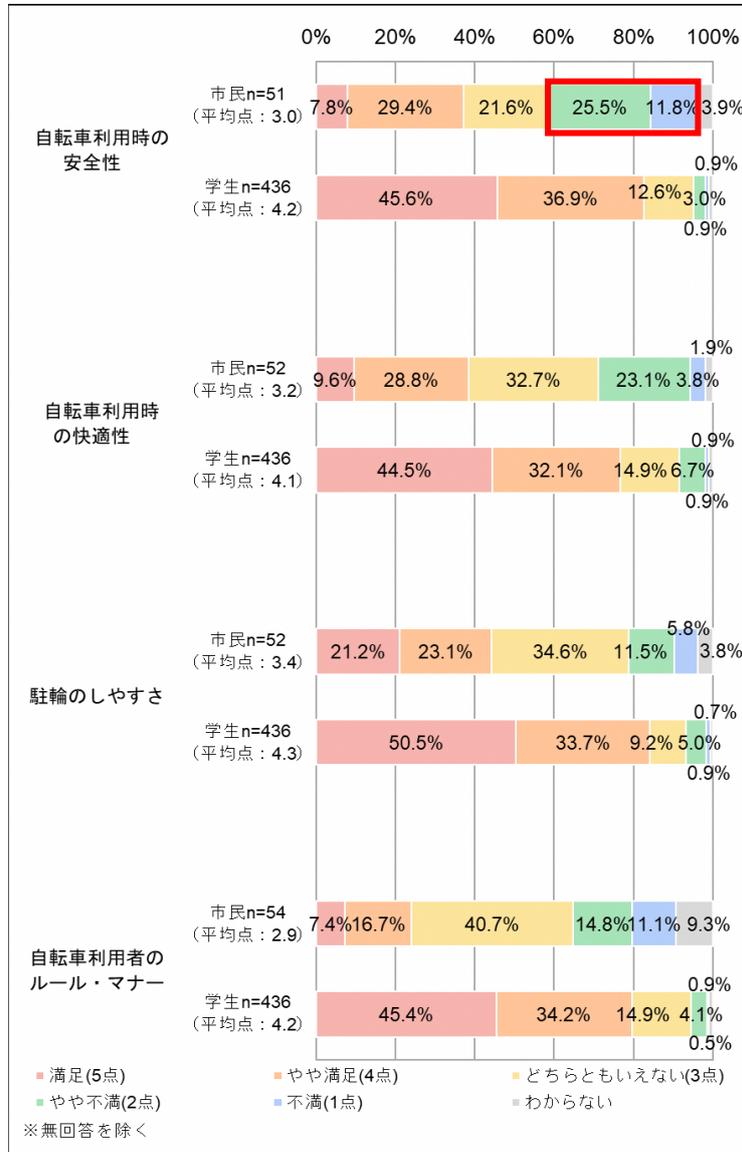


図 自転車利用環境の満足度

出典：R6出雲市における自転車利用環境に関する市民・学生アンケート



⑨ 進めてほしい自転車環境対策

満足度で安全性や快適性に不満があったように、市民・学生ともに「自転車通行空間の整備」が最も多くなっています。次いで「駐輪場の整備や増設」が多い結果となっています。

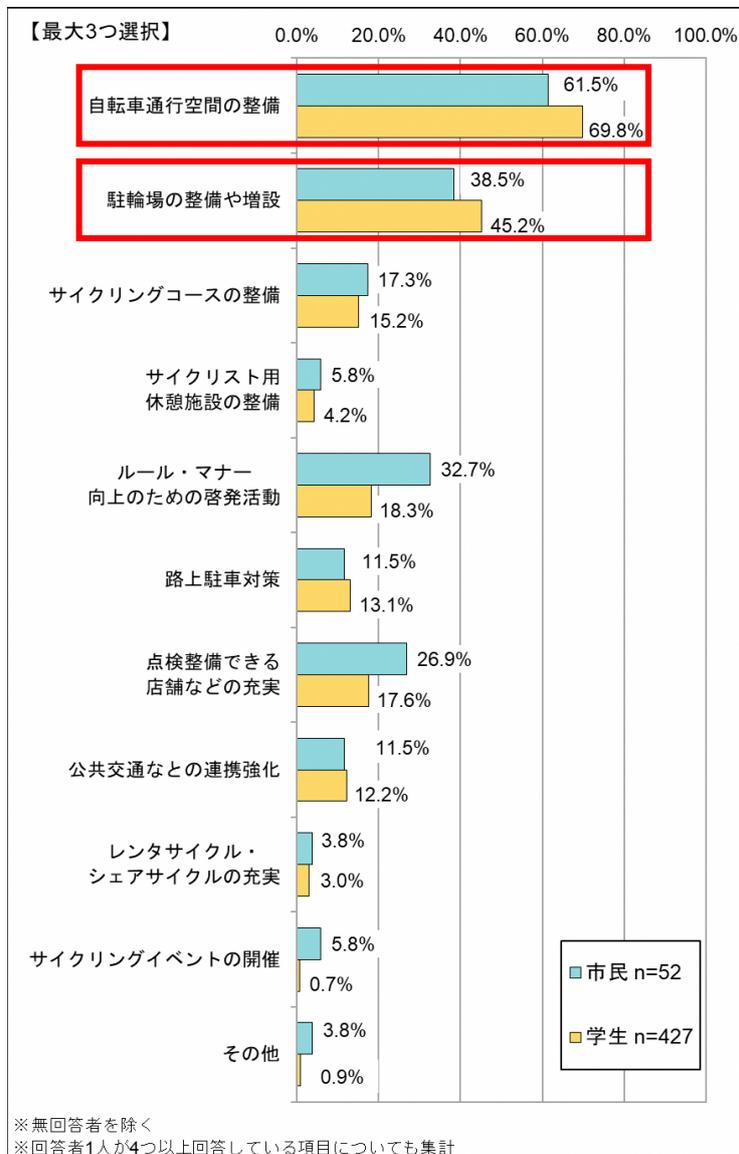


図 進めてほしい対策

出典：R6出雲市における自転車利用環境に関する市民・学生アンケート

2.2.3 健康に関する状況

(1) 健康について(アンケート結果)

① 健康への関心

健康への関心は「大いにある」・「少しある」と回答した市民は約9割、学生は約8割とどちらも多い結果となっています。

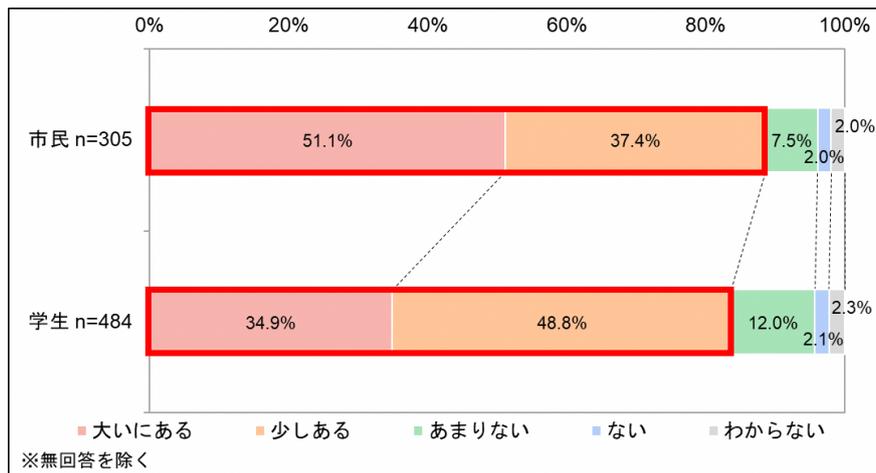


図 健康への関心

出典：R6出雲市における自転車利用環境に関する市民・学生アンケート

② 生活習慣の改善意思

健康への関心が高かったため、改善意思も「大いにある」・「少しある」と回答した市民は約8割、学生は約7割となっています。

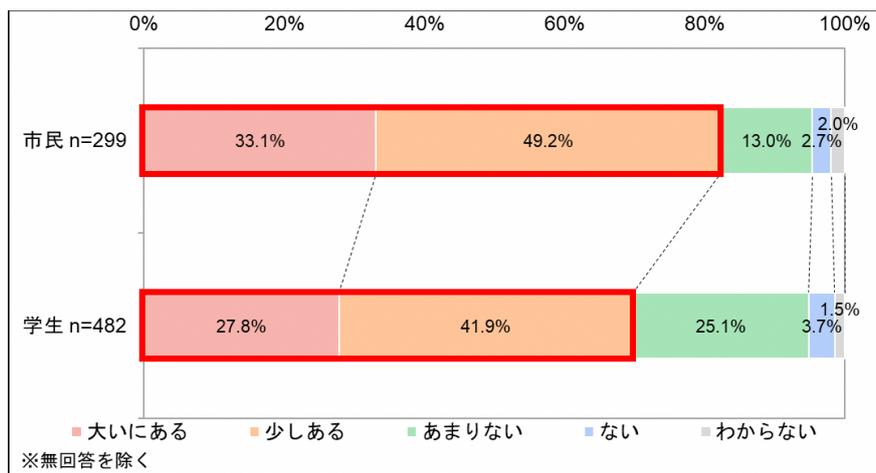


図 生活習慣の改善意思

出典：R6出雲市における自転車利用環境に関する市民・学生アンケート



③ 日常的な運動をしているか

健康への関心は高かったものの、市民の回答を見ると「日常的に運動をしていない」が4割強、「日常的に運動している」が5割程度に留まっており、運動による健康づくりに結びついていないことがわかります。

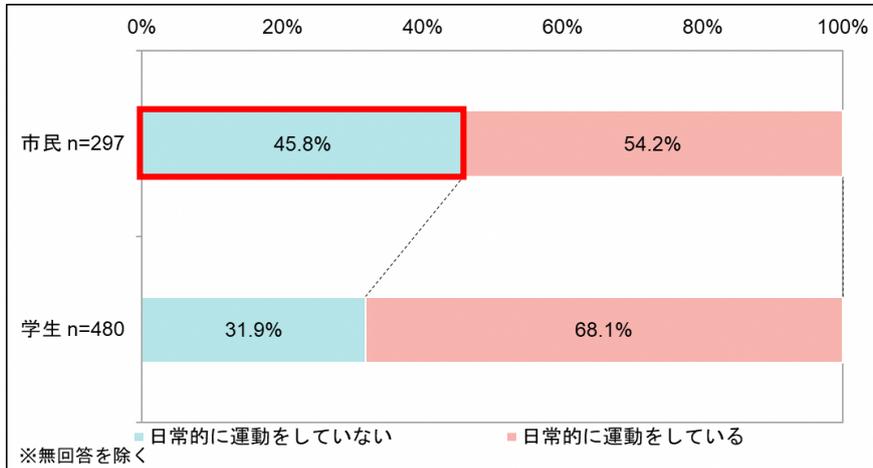


図 運動習慣の有無

出典：R6出雲市における自転車利用環境に関する市民・学生アンケート

④ 自転車を活用した健康づくりへの興味・関心

市民・学生ともに自転車を活用した健康づくりへの興味・関心が「大いにある」・「少しある」と約4割が回答しています。

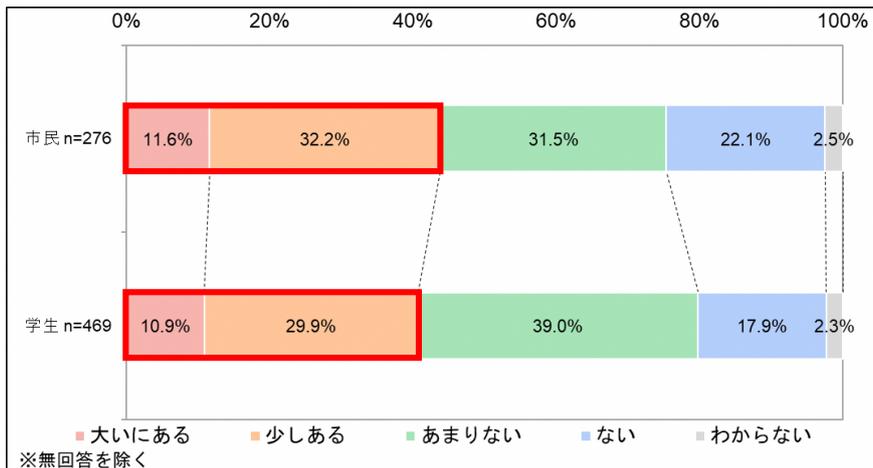


図 健康づくりへの興味・関心

出典：R6出雲市における自転車利用環境に関する市民・学生アンケート



2.2.4 観光に関する状況

(1) 出雲市の施設別観光客数

本市は、年間約700万人が訪れる出雲大社を始め、日本遺産になっている日御碕や稲佐の浜などの著名な観光地を有しています。また、R5島根県観光動態調査アンケート結果から周遊動向を分析した結果では、出雲大社に次いで、道の駅キララ多伎が多くなっています。

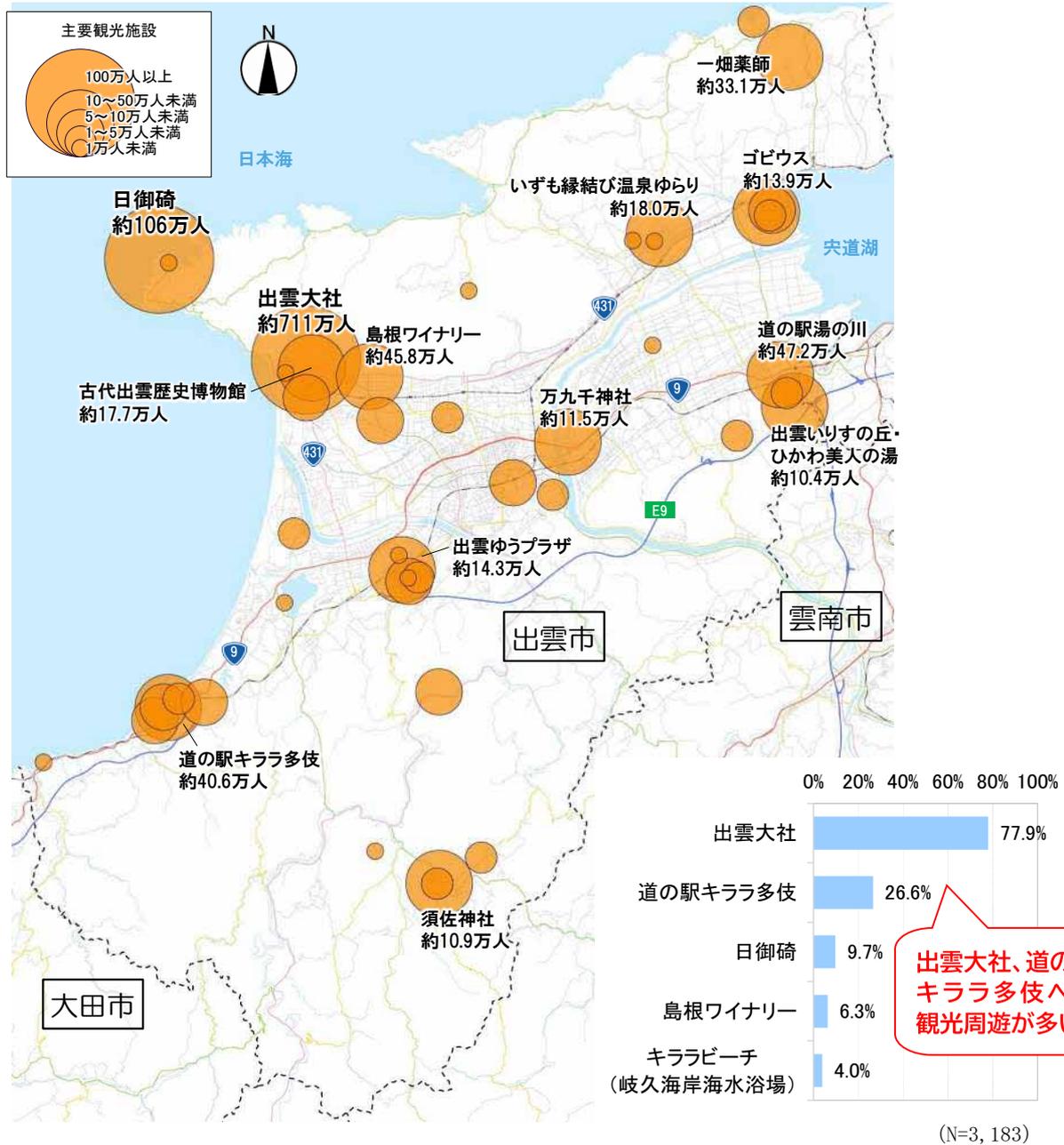


図 出雲市の主要観光地

図 出雲市内観光地の観光周遊割合

出典：R5出雲市観光動態調査業務

(2) 日本遺産「日が沈む聖地出雲」

島根半島西端の海岸線は、出雲神話の舞台となった「稲佐の浜」「日御碕」の名で親しまれ、そこからみる夕日は絶景です。古来の出雲も日が沈む聖地として知られており、出雲の人々は夕日を神聖視して畏敬の念を抱いていました。この祈りの歴史のストーリーが「日本遺産」として認定されています。

【日本遺産とは】

地域の歴史的魅力や特色を通じて文化・伝統を語るストーリーであり、ストーリーを語る上で不可欠な魅力ある有形・無形の様々な**文化財群**を**総合的に活用**する取組



文化財群の総合的な活用が必要



<稲佐の浜>



<日御碕>

(3) 県外観光客の利用交通手段

県外からの観光客の約4割は、自家用車以外の交通手段で来訪しており、二次交通の確保が必要です。

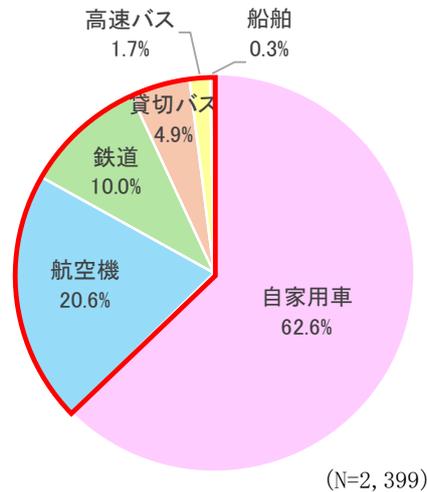


図 利用交通手段の内訳

出典：R5出雲市観光動態調査業務



(4) サイクリングイベント実施状況

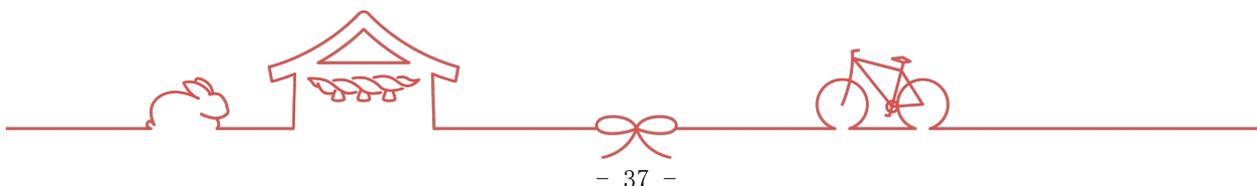
本市の道路を使用したサイクリングイベントも年間2～3回程度実施され、県外からも多くの方が参加されています。

表 出雲市がコースに入っているサイクリングイベント(R1～R5)

年度	サイクリングイベント	募集定員
R1	やまなみ街道クライムライド2019	400人
	出雲路センチュリーライド2019	800人(参加:407人)
	フジドリームエアラインズで行く、島根サイクリングキャンペーン	—
R2	出雲路センチュリーライド2020	700人
R3	出雲路センチュリーライド2021	700人(参加:379人)
R4	やまなみ街道クライムライド2022	400人
	出雲路センチュリーライド2022	700人
R5	やまなみ街道クライムライド2023	400人
	出雲路センチュリーライド2023	600人
	やまなみ街道サイクル「道の駅」でん2024	350人
R6	やまなみ街道クライムライド2024	400人
	出雲路センチュリーライド2024	500人

出典：しまねサイクリングNavi、サイクリストビュー、SPORTS ENTRY

※出雲路センチュリーライド2024において、サイクリストアンケートを実施しました。



(5) サイクリストアンケート

出雲路センチュリーライド2024（出走者213名）において、サイクリストアンケートを実施し、旅行先でのサイクリングやロードバイクを使ったサイクリングについてご意見を伺いました。

<アンケート回答者の居住地>

アンケート回答者の約8割が、県外居住者でした。

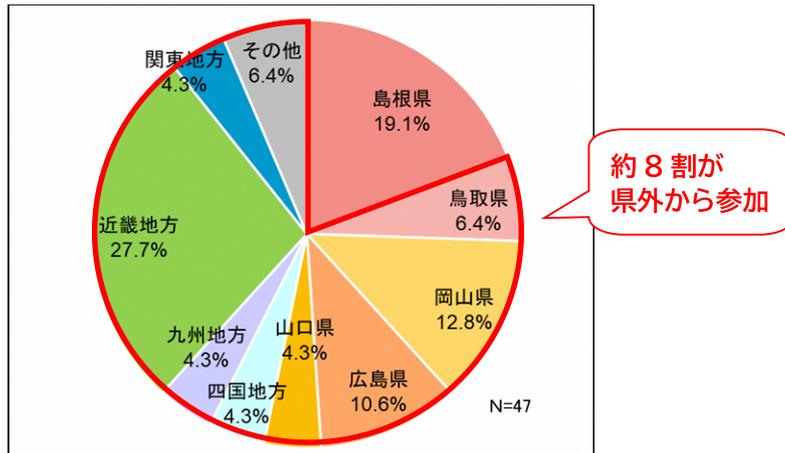


図 回答者の居住地の内訳

出典：R6サイクリストアンケート（9/15出雲市センチュリーライド）

① 旅行先でのサイクリングに関して

<旅行先でのレンタサイクル利用経験>

アンケート回答者の約3割が、旅行先でのレンタサイクルを利用したことがあると回答しています。

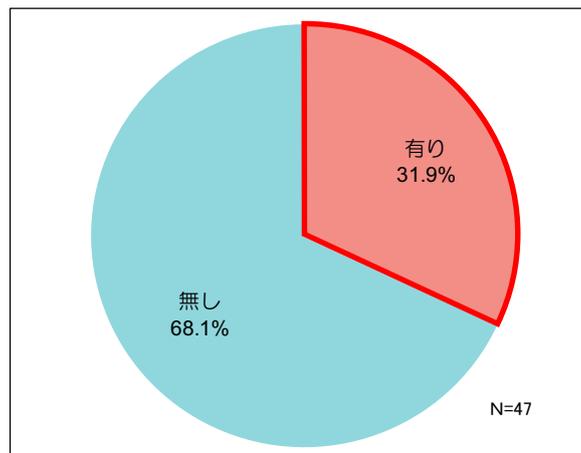


図 レンタサイクル利用経験の有無

出典：R6サイクリストアンケート（9/15出雲市センチュリーライド）



<旅行先でのレンタサイクル利用時間>

レンタサイクルを利用する場合、「2～3時間程度」の回答が最も多く、約4割となっています。

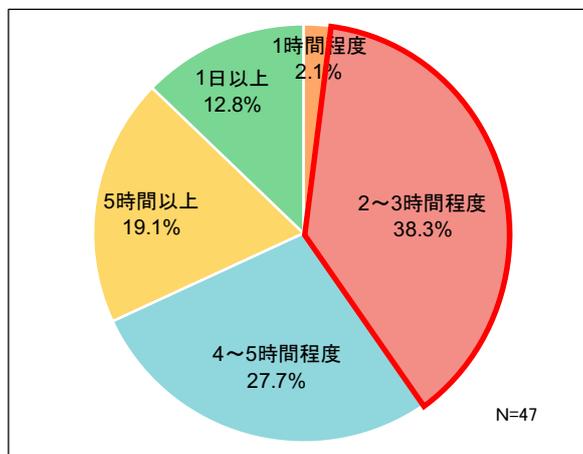


図 レンタサイクルの利用時間

出典：R6サイクリストアンケート（9/15出雲市センチュリーライド）

<旅行先でレンタサイクル利用する場合の自転車の種類>

レンタサイクルを利用するなら、約半数が「ロードバイク」を選ぶと回答しています。

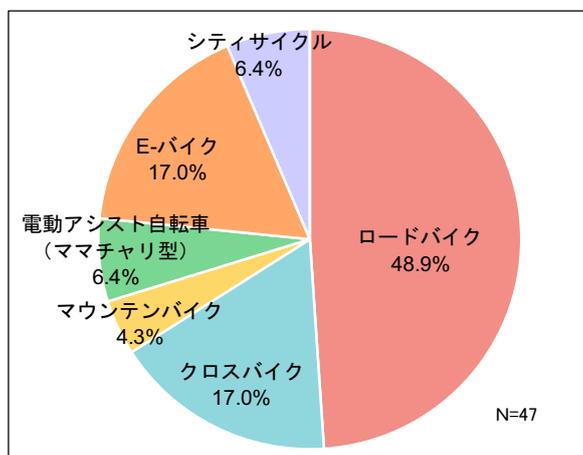


図 レンタサイクル利用時の自転車の種類

※レンタサイクル利用経験がない回答者の回答（仮定）も含む

出典：R6サイクリストアンケート（9/15出雲市センチュリーライド）



<どのような魅力があれば、旅行先でレンタサイクルを利用するか>

旅行先でレンタサイクルを利用するなら2~3時間程度の回答が多かったように、「適度な距離・時間で観光地を周遊することができる」と利用すると考えている回答者が多いことがわかります。

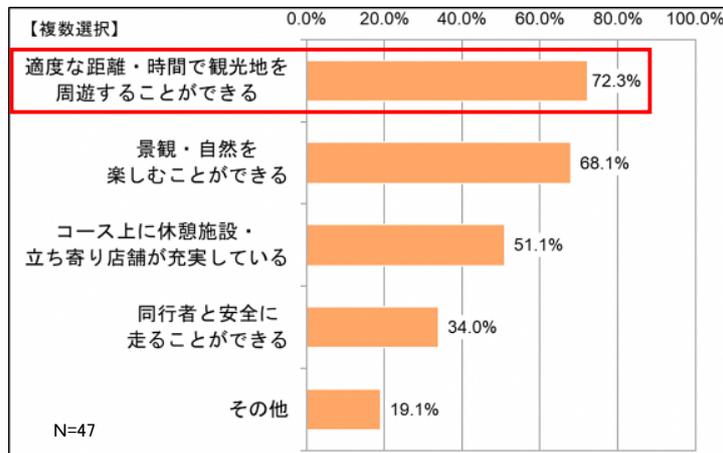


図 旅行先でレンタサイクルを利用するための魅力

出典：R6サイクリストアンケート（9/15出雲市センチュリーライド）

<一般の観光客に向けたサイクリング情報の有効な発信手段>

情報発信について、「SNS」の回答が最も多く、次いで「観光情報サイト」、「youtube」となっており、デジタルコンテンツが有効となっています。

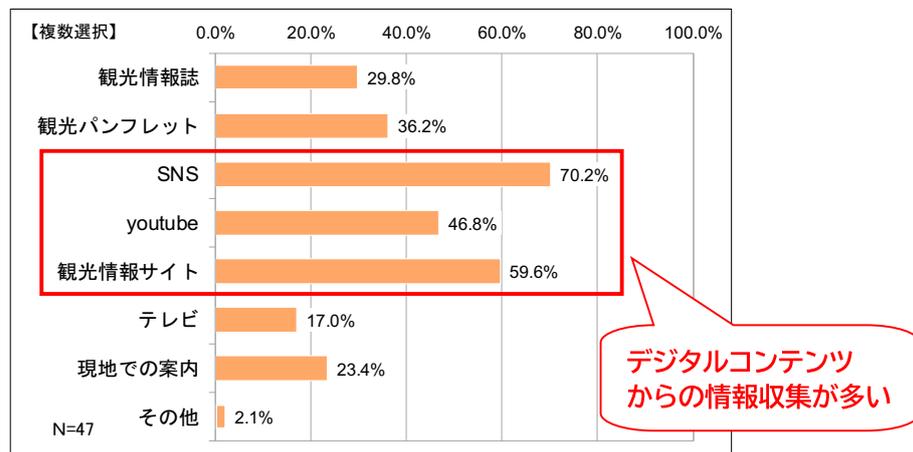


図 有効な情報発信手段

出典：R6サイクリストアンケート（9/15出雲市センチュリーライド）



② ロードバイク等を利用したサイクリングに関して

<地元以外でサイクリングを行う頻度>

自家用車等でロードバイクを運ぶなど地元以外で行うサイクリングの頻度は、「年に3~4回」が約3割で最も多く、月に1回以上の高い頻度でサイクリングを行う回答も約4割となっています。

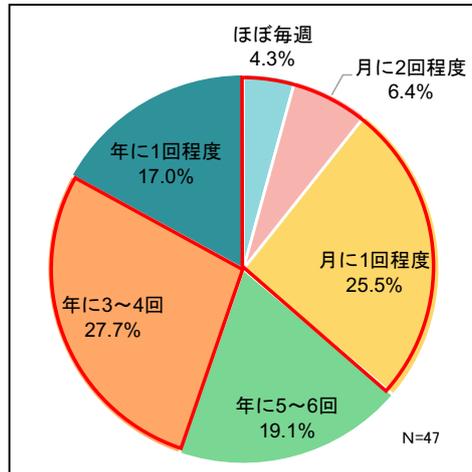


図 地元以外でサイクリングを行う頻度

出典：R6サイクリストアンケート（9/15出雲市センチュリーライド）

<サイクリングの行先を検討する際に重要視すること>

サイクリングの行先で重要視することは「自動車交通量が少なく走りやすいコース」、「景色を楽しむことができるコース」の回答が多い結果となっています。

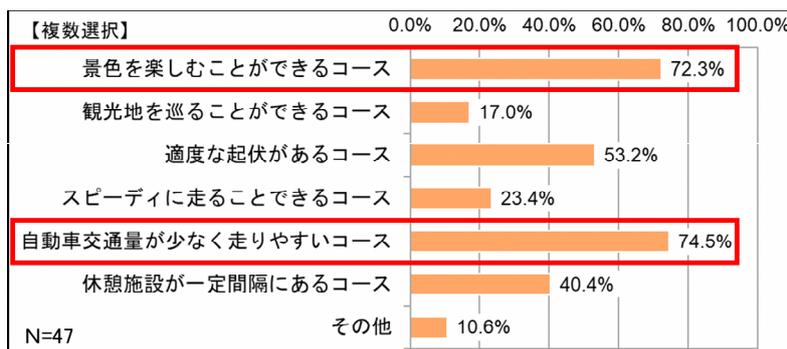


図 サイクリングの行先で重要視すること

出典：R6サイクリストアンケート（9/15出雲市センチュリーライド）



<サイクリングの行先を検討する際の情報源>

サイクリストの情報源は「インターネット検索」が最も多く、次いで「SNS」となっています。

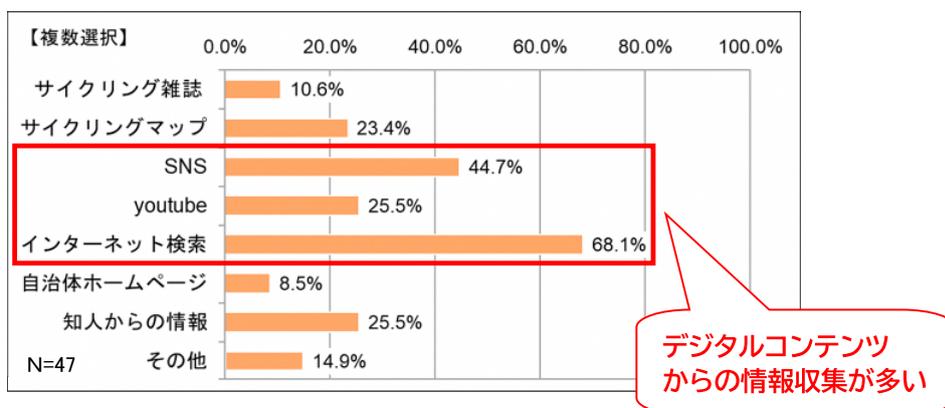


図 情報源

出典：R6サイクリストアンケート（9/15出雲市センチュリーライド）

<地元以外のサイクリングに向かう際の主な交通手段>

主な交通手段は、「自家用車」が最も多い結果となっています。

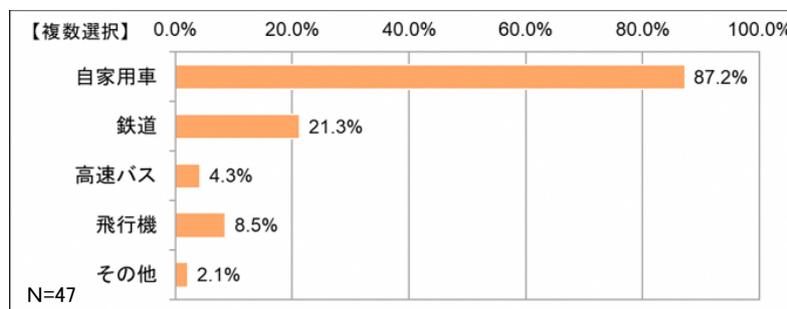


図 主な交通手段

出典：R6サイクリストアンケート（9/15出雲市センチュリーライド）



<出雲市のサイクリング環境の問題点>

出雲市のサイクリング環境で「駐輪施設やサイクルポートが十分でない」ことが最も問題視されており、「サイクリングコースの案内がない、または分かりにくい」、「自転車で安全に走行できる対策が行われていない」など、コースや安全面にも問題点があるという回答結果となっています。

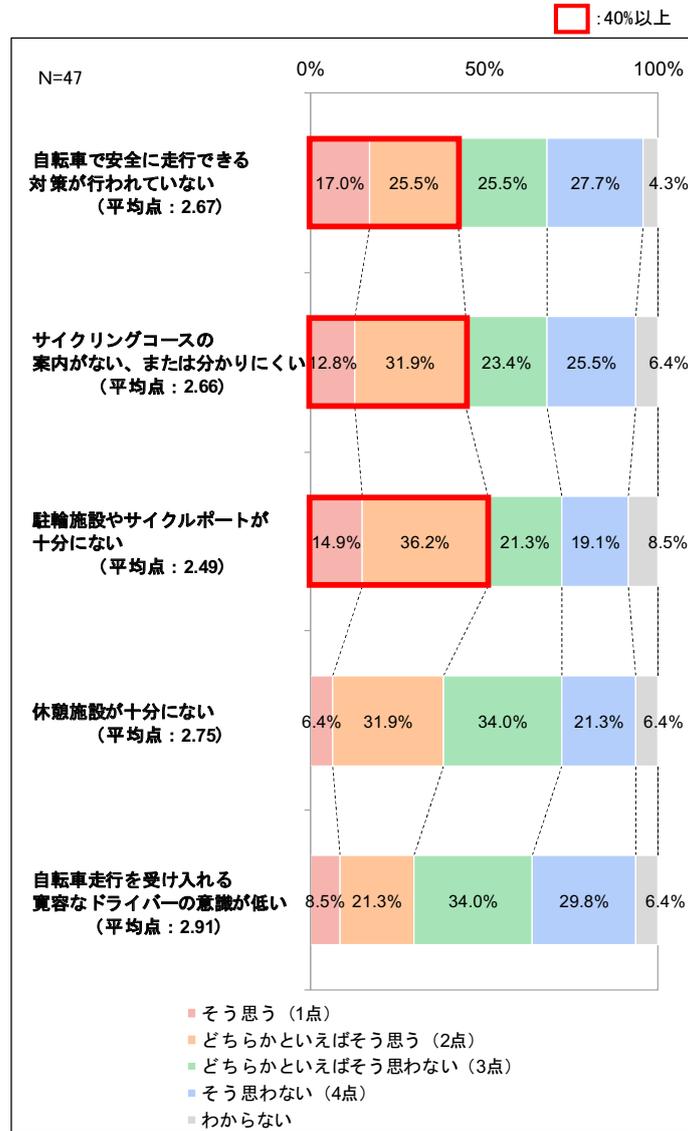


図 出雲市のサイクリング環境の問題点

出典：R6サイクリストアンケート（9/15出雲市センチュリーライド）



<サイクリストに出雲市を訪れてもらうために必要な対策>

出雲市を訪れてもらうためには、「サイクリングイベントの開催」が重要と考える回答が最も多く、サイクリング環境にも繋がる「ラインやピクトグラムの設置」、「サイクルスタンドの設置」、そして周知も重要という回答結果となっています。

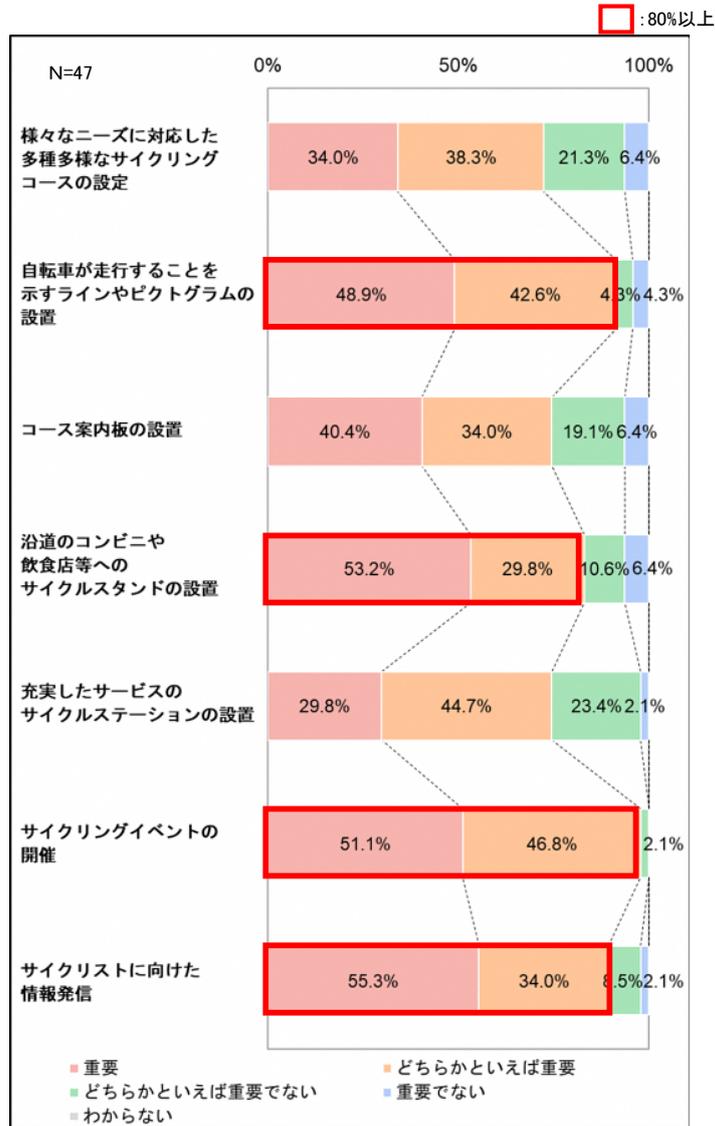


図 出雲市を訪れてもらうための対策

出典：R6サイクリストアンケート（9/15出雲市センチュリーライド）

